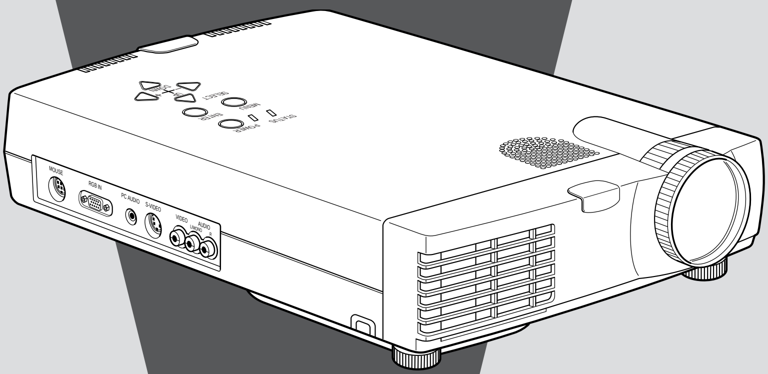
PLUS

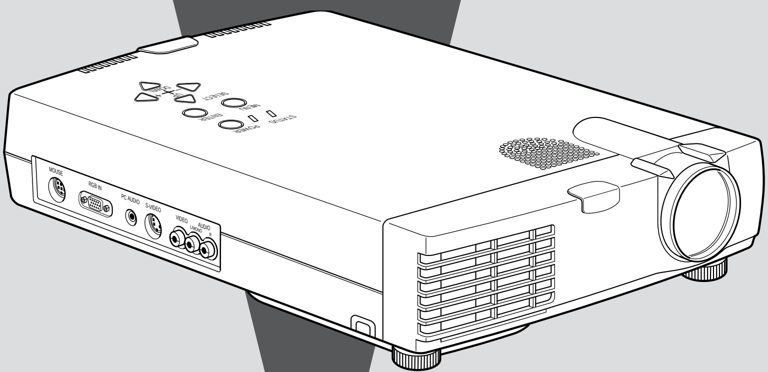
デジタルプロジェクタ
U2-1080/U2-870

取扱説明書

U2-1080



U2-870※



※ 本文中のイラストは、特に表記のない限りはU2-1080を使用しています。

はじめに

このたびは、プラスデジタルプロジェクタU2-1080/U2-870をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

このたびはPLUSデジタルプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。

ご使用の前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに、いつでも見られる所に大切に保存してください。
万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとききっとお役に立ちます。

注意
　この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

（1）　本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）　本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）　本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）　本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）　乱丁、落丁はお取り替えいたします。

主な特長

● **A4サイズ、軽量（U2-1080=2.6kg、U2-870=2.5kg）にして、高輝度（U2-1080=800ANSIルーメン、U2-870=700ANSIルーメン）**

DMD™と独自の光学設計の相乗効果で、光の利用効率を向上。カラー表現に必要な3原光(RGB)を1枚のDMD™で再現。これにより、高輝度化と小型・軽量化を可能にしました。

● **鮮明で、クリアな画像**

RGBの色ズレがなく、ひとつひとつのドット(点)の隙間が目立たないので、小さな文字や図表などをくっきりと明瞭に表示。近づいて見れば、さらにその違いがわかります。

● **DVDなど高画質の情報ソースを再現すると際立つ、美しさ。**

白黒の階調を忠実に再現することで、より自然な画像を表示できます。とくに、DVDをはじめとする高画質の情報ソースほど、デジタルプロジェクタが本来持つ表示能力を引き出します。

● **目線の高さに投影するとき、画面が台形に歪まない**

投影する位置を予め目線の高さに設定してあるため、画面が台形に歪む現象が起きずらくなっています。目線以外の高さに投射するときも、KEYSTONE（キーストーン）調整で台形の歪みを補正することができます。

● **XGAフル対応で、SXGA圧縮表示（U2-1080）**

SXGAを表示する際、間引きされた情報を補完しているため、文字欠けなどがありません。

S-VGAフル対応で、XGA圧縮表示（U2-870）

XGAを表示する際、間引きされた情報を補完しているため、文字欠けなどがありません。

登録商標について

＊ DMD™(Digital Micromirror Device)は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
＊ NEC、PC-98は日本電気(株)、AccuBlendは日本電気ホームエレクトロニクス(株)の商標です。
＊ Macintosh、Power Bookは米国アップルコンピューター社の商標または登録商標です。
＊ IBM、VGA、XGA、SXGAは米国International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
＊ S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
＊ DOS/Vは日本アイ・ビー・エム(株)の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

目次

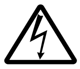
安全のために

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）を促すことを表しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号はしてはいけないことを表しています。
図の中や具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

必ず守ってください

⚠ 警告

不安定なところには置かない

不安定な設置禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  すぐに電源を切り、そのあと必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。
  お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。
  お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

衝撃を与えない

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 万一、本機を落としたり、破損してしまった場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
  そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

風呂場や水のかかるところには置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に水を入れたり、濡らしたりしないようにご注意ください。
  火災・感電の原因となります。
  雨天や降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

（次ページへ続く）

⚠ 警告

水の入った容器を置かない

水物禁止

● 本機の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

● 万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの取り扱いは大切に

電源コードの傷つけ禁止

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず重いものをのせてしまうことがあります。

電源コードの加工禁止

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら販売店へ交換依頼を

● 電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線等)販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置について

● 天吊りなど特別な工事が必要な設置につきましては販売店にご相談ください。
お客さまによる設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

キャビネットは絶対にはずさない

分解禁止

感電注意

● 本機のキャビネットをはずしたり、あけたりしないでください。
内部には電圧の高い部分がありますので、感電の原因となります。

内部の点検・修理は販売店へ

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

⚠ 警告

改造しない

改造禁止

- 本機を改造しないでください。
  火災・感電の原因となります。

内部に物を入れない

異物挿入禁止

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐ修理依頼を

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

表示以外の電圧で使用しない

定格電圧以外使用禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
  火災・感電の原因となります。

アルカリ電池を分解しない

- アルカリ電池をショート、分解、火に入れるなどしないでください。
  アルカリ性溶液がもれて目に入ったり、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。
  万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。

（次ページへ続く）

⚠ 注意

ランプ交換について

● ランプの交換は、電源を切り、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
ランプの交換手順につきましては49ページ「ランプカートリッジを交換する」をお読みください。

お手入れについて

● 電源を切り、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次のようなところは故障・事故の原因

● 本機を水平に調整するときは本体が傾かないようにアジャスターを調節してください。
傾いた状態で使用すると本体が転倒してけがの原因となることがあります。
調整手順につきましては24、25ページをお読みください。

● 本機を暖房の近くや振動の多い所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 油煙や湿気の当たるような場所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

マンガン電池を分解しない

● マンガン電池をショート、分解、火に入れるなどしないでください。
発熱、液もれ破裂により、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の取り扱い

● 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと破裂、液もれによる火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・電池をリモコンなどの機器に入れる場合、極性表示（プラス+とマイナス−の向き）に注意し、機器の表示通りに入れてください。
・機器で指定されていない電池を使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
・電池を充電しないでください。
・使いきった電池はすぐに機器から取り出してください。
・電池に直接ハンダ付けしないでください。
・直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

⚠ 注意

通風孔をふさがない

通風孔をふさがない

- 本機の通風孔をふさがないでください。
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  たとえば本機を床や台などにあお向け・横倒し・逆さまに置いて使用する。
  また、押し入れや本箱などの風通しの悪いところに押し込む・ジュータンや布団の上に置く・テーブルクロスなどを掛ける。

周囲に間隔をあける

- 本機を設置する場所は周囲から適当な間隔をあけてください。
  目安として10cm以上の間隔をあけてください。

本機の下に紙や布などを置かない

- 本機の下に紙や布などの柔らかいものを置かないでください。
  底面の吸気孔に吸い付いて内部の温度が上り、火災の原因となることがあります。

次のようなことはしない

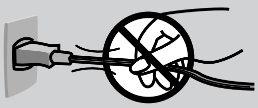
禁止

- 本機の上に重いものを置かないでください。また本機に重いものを付けたり、ぶらさげたりしないでください。
  バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本機や台またはスタンドに乗らないでください。また本機につかまったり、ぶらさがったりしないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭や場所ではご注意ください。
- キャスター付き台に本機を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- リモコンのPOWERボタンをONにした後、1分間はOFFできません。またPOWERボタンをOFFにした後は1分間ONできません。電源を入れた直後は、ランプに非常に高い電圧がかかります。そのためランプのON、OFFを短時間に繰り返すとランプの劣化および破損・本機の故障の原因になります。
  本体のPOWERボタンの操作も同様です。

電源コード・電源プラグについて

熱器具を近付けない

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを引っ張らない

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

濡れた手は危険

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

移動するときは接続線をはずしてから

- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止をはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

- 本機の使用が終わったら、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、電源を切ったあと、POWERインジケータが緑に点滅している間は冷却装置が働いていますので、電源プラグは抜かないでください。緑の点滅中に電源プラグを抜くとランプの寿命が短くなり、本体を傷める原因にもなります。
  電源プラグはPOWERインジケータがオレンジ色の点灯に変わって（スタンバイ状態になって）から抜いてください。

（次ページへ続く）

⚠ 注意

お手入れについて

電源プラグをコンセントから抜く

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
詳細は51ページをご覧ください。

レンズをのぞかない

レンズをのぞかない

● レンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投射されていますので、目を痛める原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

リモコンのレーザー光源をのぞかない

レーザー光源をのぞかない

● レーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

点検・工事について

内部の掃除を販売店で

● 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

キャリングケースの取扱上の注意

無理な扱いはしない

● 本機を入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものは入れないでください。
移動の際に本機の傷や故障の原因になることがあります。

使用上のお願い

1. 持ち運びについて

本機を使用しないときは、必ずレンズキャップを取り付けてください。レンズに傷がつくの防ぎます。
また、本機を持ち運ぶときは、付属のキャリングケースを使用してください。そして、レンズに傷がつかないように必ずレンズキャップを取り付けてください。また、デジタルプロジェクタ本体には強い衝撃を与えないでください。

2. 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。また、本機を使用されないときは、付属のレンズキャップをかぶせておいてください。

3. スクリーンについて

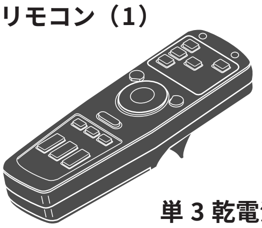
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

付属品を確認する

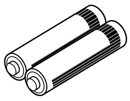
本体と付属品を箱から取り出して、次のものが同梱されていることをご確認ください。
（　）内の数字は数量です。

■ リモコン関連 …16、17 ページ参照

リモコン（1）

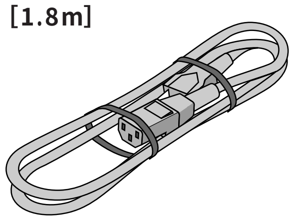


単 3 乾電池（2）



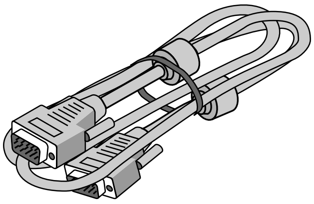
■ 電源コード …24 ページ参照

電源コード（1）
[1.8m]

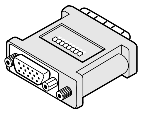


■ パソコン（RGB 端子）接続関連 …21 ページ参照

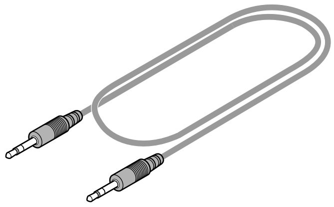
RGB 信号ケーブル（1）
[IBM ／ 98 ミニ D-Sub15 ピン、1m]



信号アダプタ（1）
【Macintosh 用】

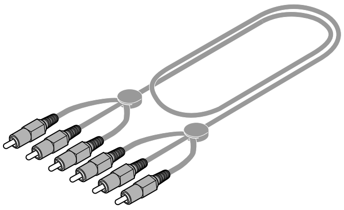


PC オーディオケーブル（1）
[PC 音声接続用、1m]

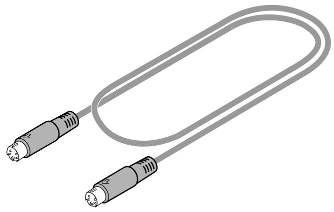


■ ビデオ機器（ビデオ端子）接続関連 …20 ページ参照

オーディオ／ビデオケーブル（1）
[1m]

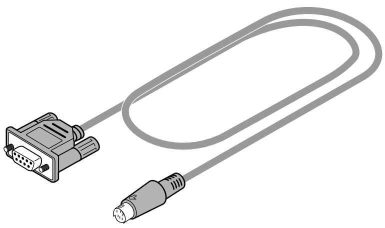


S- ビデオケーブル（1）
[1m]

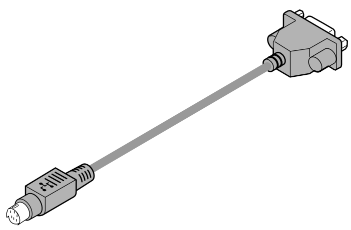


■ リモコンをマウスとして使用するときの付属品 …23 ページ参照

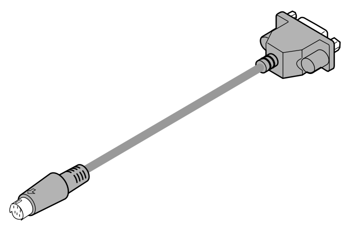
シリアルマウスケーブル（1）
[1m]【IBM ／ Macintosh 用】



マウスアダプタ（1）
【Macintosh 用】

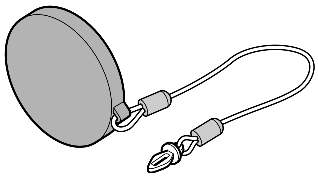


マウスアダプタ（1）
【PS/2 用】



■ レンズキャップ

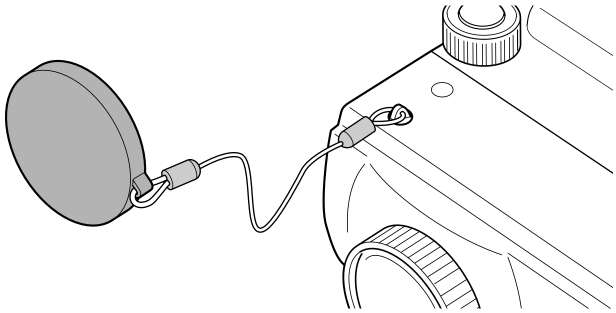
レンズキャップ（1）
［本体に装着済］



レンズキャップについて

レンズキャップは、図のようにレンズキャップひもとリベットで本体底面に固定されています。

本体底面図



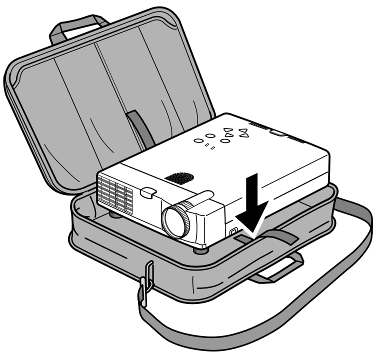
■ キャリングケース

キャリングケース（1）

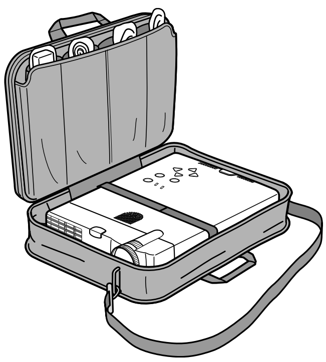


キャリングケースの使い方

1. 本機を入れ（向きにご注意ください）、



2. マジックテープでとめる。



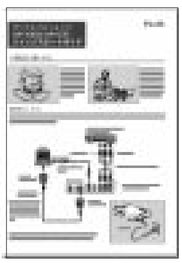
付属品等は収納ポケットに入れてください。

■ 書類

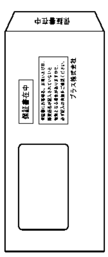
取扱説明書［本書］（1）



クイックスタートガイド（1）



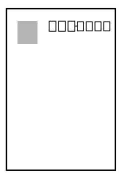
保証書（1）



FAX 発信用ユーザー登録用紙（1）



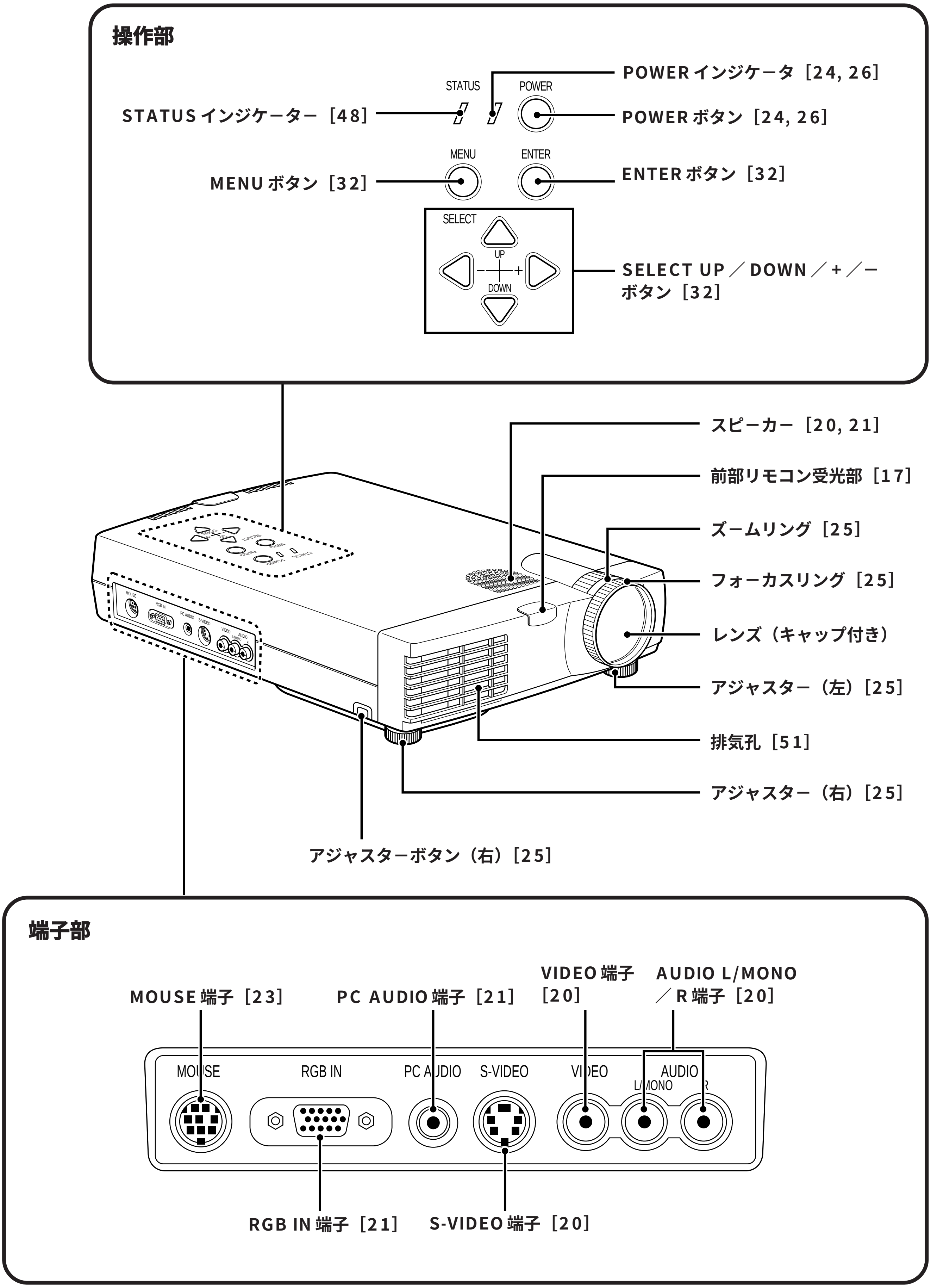
ユーザー登録カード（1）



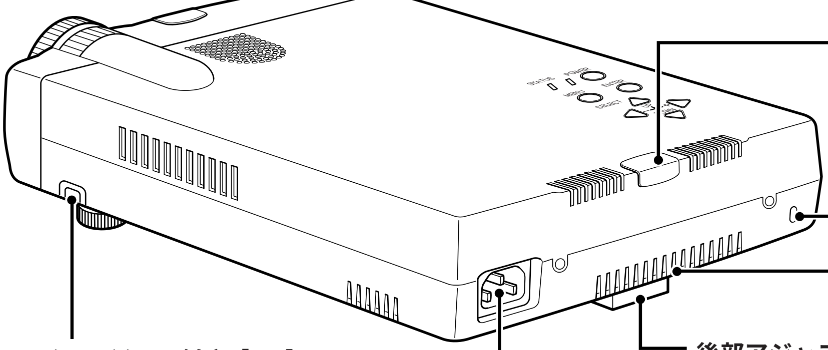
各部のなまえ

［　］内の数字は参照先のページです。

■ 正面図

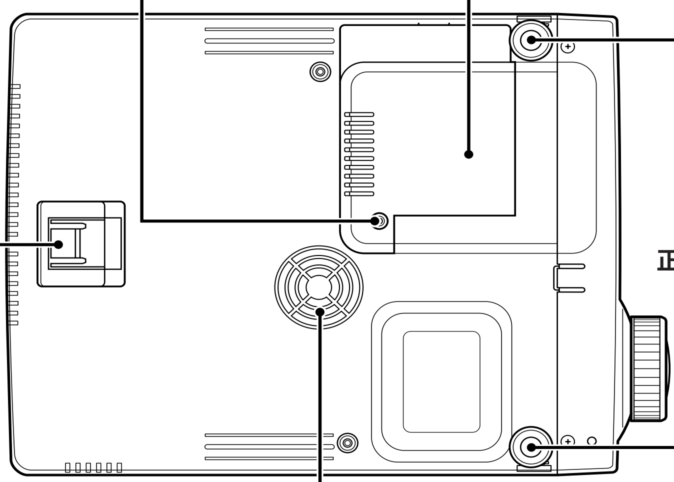


■ 後面図



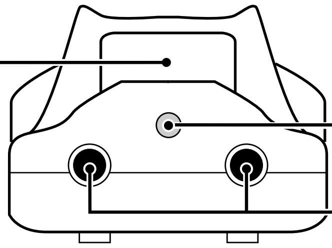
盗難防止用ロックについて	盗難防止用ロック穴は、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。 **日本ポラロイド株式会社　電子映像営業グループ** **〒105　東京都港区虎ノ門3丁目2番2号　第30森ビル** **Tel : 03-3438-8879　Fax : 03-5473-1630**

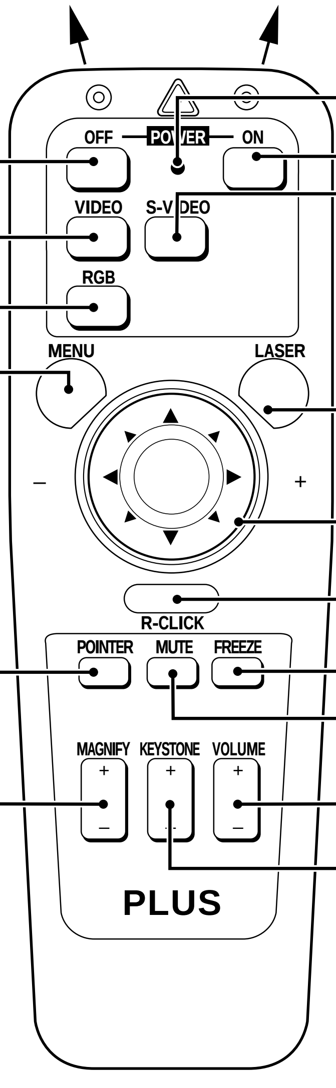
■ 底面図



（次ページへ続く）

■ ワイヤレス／ワイヤードリモコン

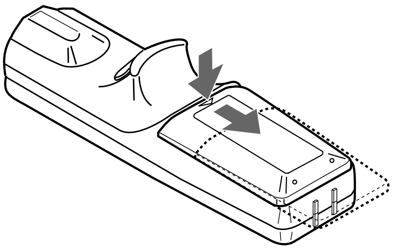




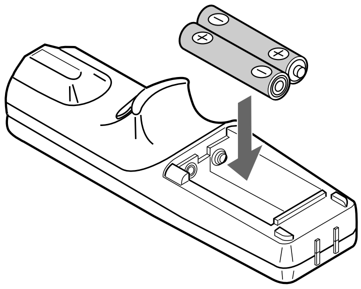
リモコンを準備する

付属の単 3 乾電池 2 本をリモコンに入れます。

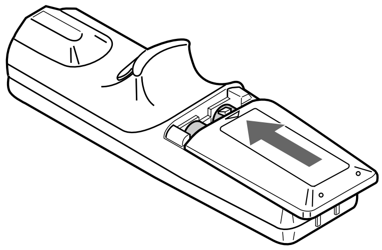
1 **リモコン裏面の電池ケースのふたをはずす。**



2 **ケース内部の表示にしたがって、＋と－を間違えないように乾電池を入れる。**



3 **ふたを元に戻す。**



リモコン使用上のお願い

本体のリモコン受信部やリモコンの発信部に明るい光や蛍光燈が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。

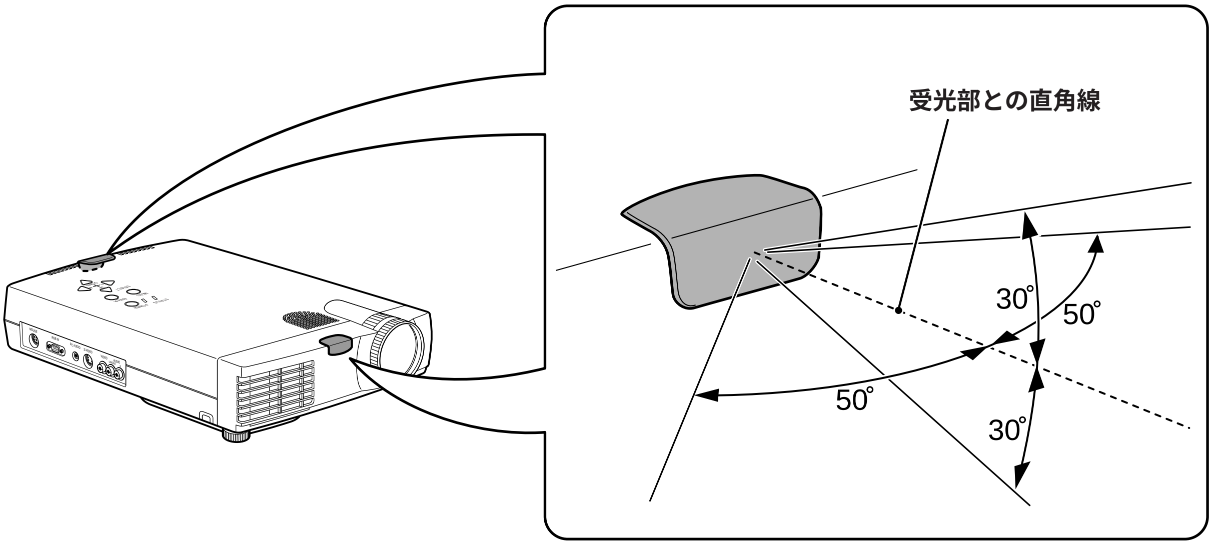
リモコンの取り扱いについて

- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- リモコンしかできない操作がありますので、取り扱いには注意してください。

準備と予備知識

■ リモコンの受光範囲

リモコンの受光部は本体の各側面にあります。受光範囲は、受光部に向かう直角線に対して上下 30° 内、左右 50° 内です。受光可能距離は 4m です。



設置する

本機を設置される際は、性能確保のため、次の点にご留意ください。

● **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**
　動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
　振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

● **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**
　高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

● **ビニールシート（柔らかく薄いシート状の物等）の上には設置しないでください。**
　底面の排気ファンをふさぎ、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● **高温または低温になる場所には設置しないでください。（使用温度：5℃～35℃）**

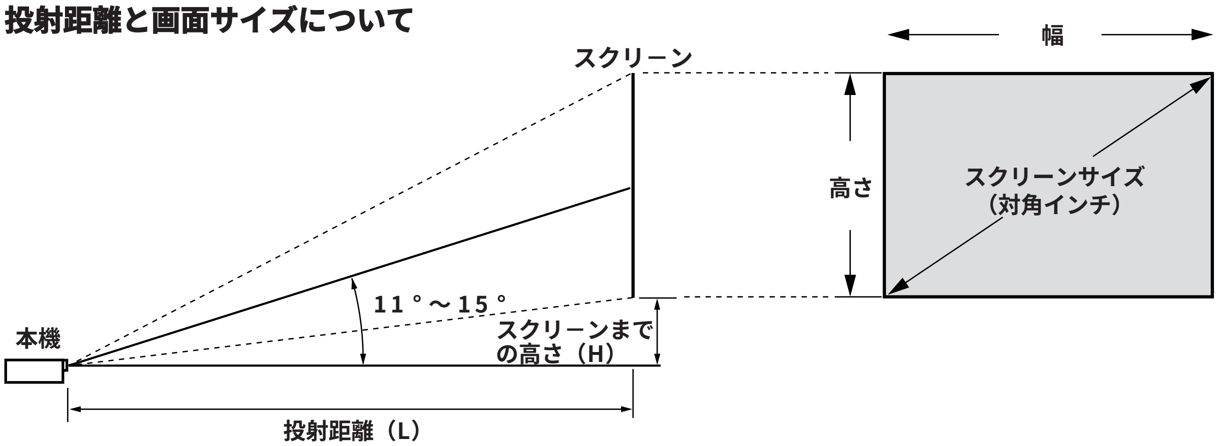
● **スクリーンへの外光対策をしてください。**
　スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
　直接スクリーンに日光や照明の光が当たると、白っぽく、見にくい画面になります。

● **投射画面位置を上げたい場合は、安定した丈夫な台にのせて設置します。**

■ 設置の目安（通常の設置）

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、またどのくらいのスクリーンを用意すればいいのかを知りたいときの参考にしてください。
フォーカス（焦点）の合う投射距離はレンズ前面から 1.2m ～ 12.3m です。この範囲で設置してください。

投射距離と画面サイズについて



● **水平投影位置** ——— レンズを中心に左右均等

● **垂直投影位置（XGA時）**

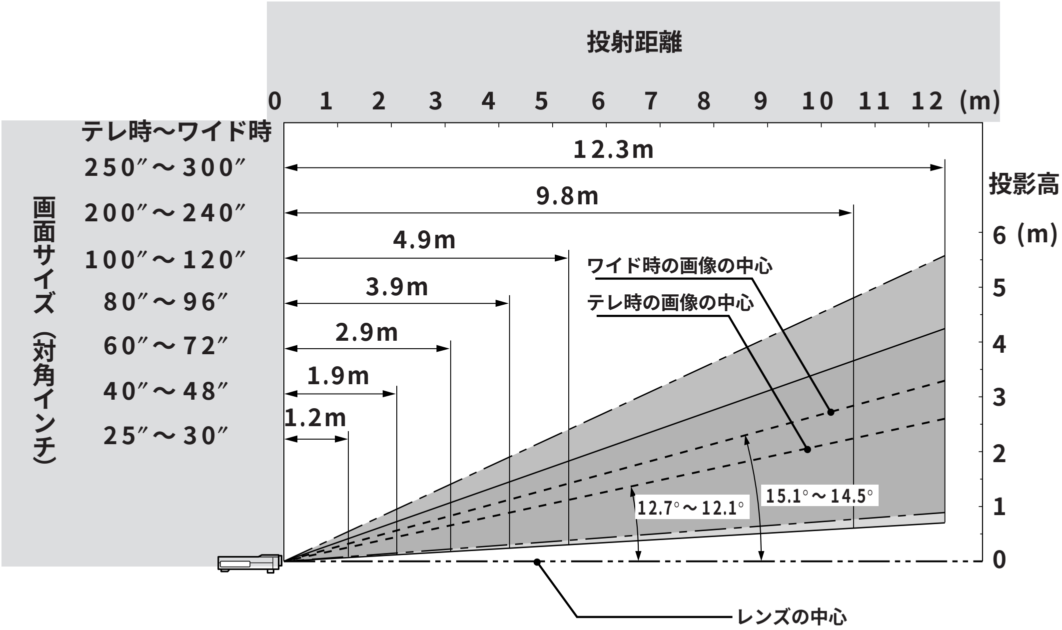
スクリーンサイズ	投影距離 L・m		寸法 H・cm
インチ	ワイド	テレ	※
25	——	1.2	7.4
40	1.6	1.9	11.9
60	2.4	2.9	17.8
80	3.2	3.9	23.7
100	4.0	4.9	29.7
120	4.9	5.8	35.6
150	6.0	7.3	44.5
200	8.1	9.8	59.3
240	9.8	11.7	71.2
300	12.3	——	89.0

※ ワイドもテレも高さ（H）は同じです。

お知らせ

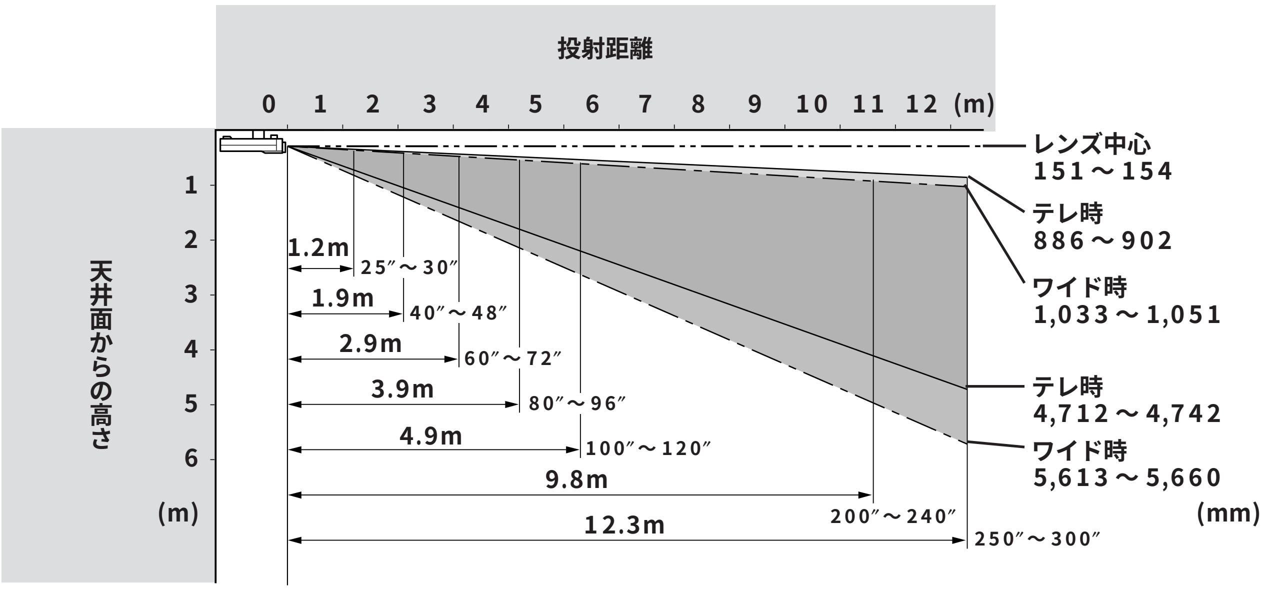
● 設計値の為、±5%の誤差があります。

● 投射距離と画面サイズ（対角インチ）表



■天吊り金具を使用したときの目安

天吊り金具を使用するときは、詳細メニューの『投射方法』で『フロント／天吊り』を選択します（☞ 25, 34 ページ）。



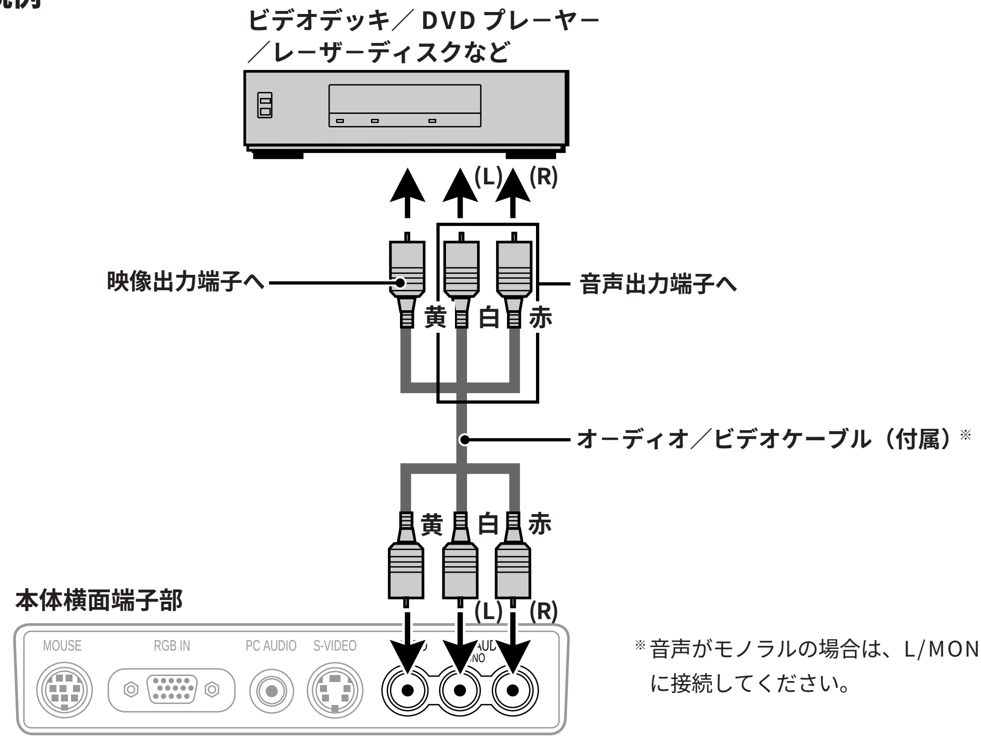
ビデオ機器を接続する

ビデオデッキ、レーザーディスクプレーヤー、DVD プレーヤーなどを接続します。

■ ビデオ端子、S- ビデオ端子と接続する

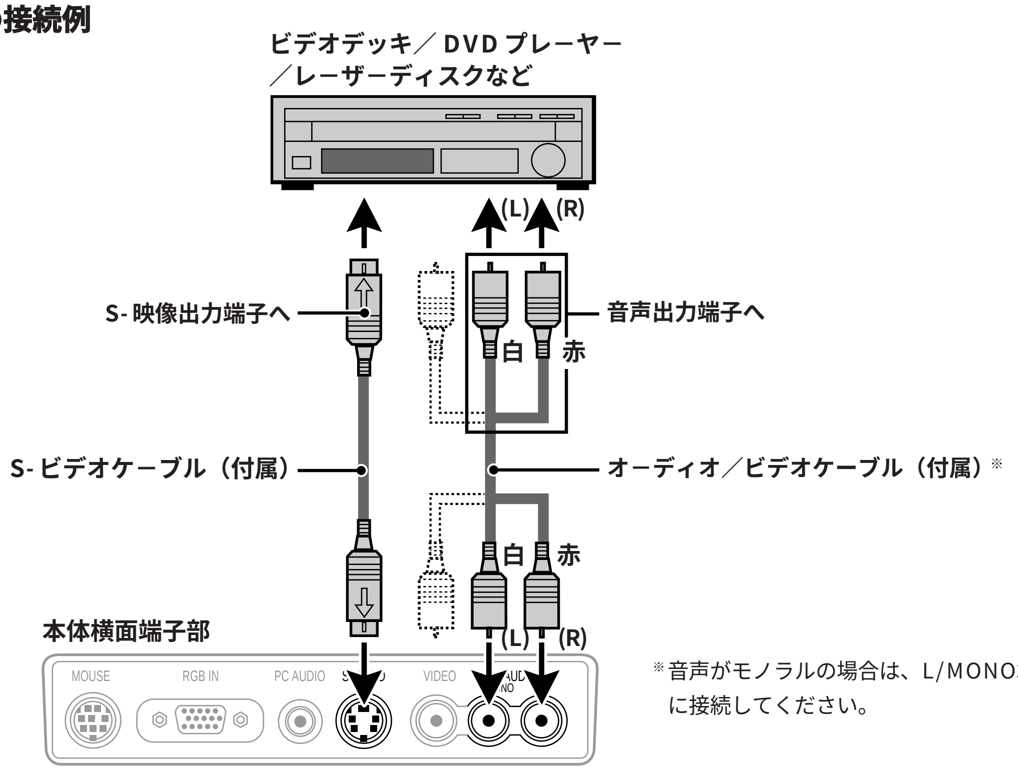
- 映像は、VIDEO端子とS-VIDEO端子の2系統があるので、外部機器を2台同時につなぐことができます。（入力選択で切り換えることができます。）
- 音声入力は1 系統です。2台の外部機器を接続する場合は、どちらか1台の音声を本機スピーカーから出力できます。

VIDEO 端子への接続例



※音声がモノラルの場合は、L/MONO端子に接続してください。

S-VIDEO 端子への接続例

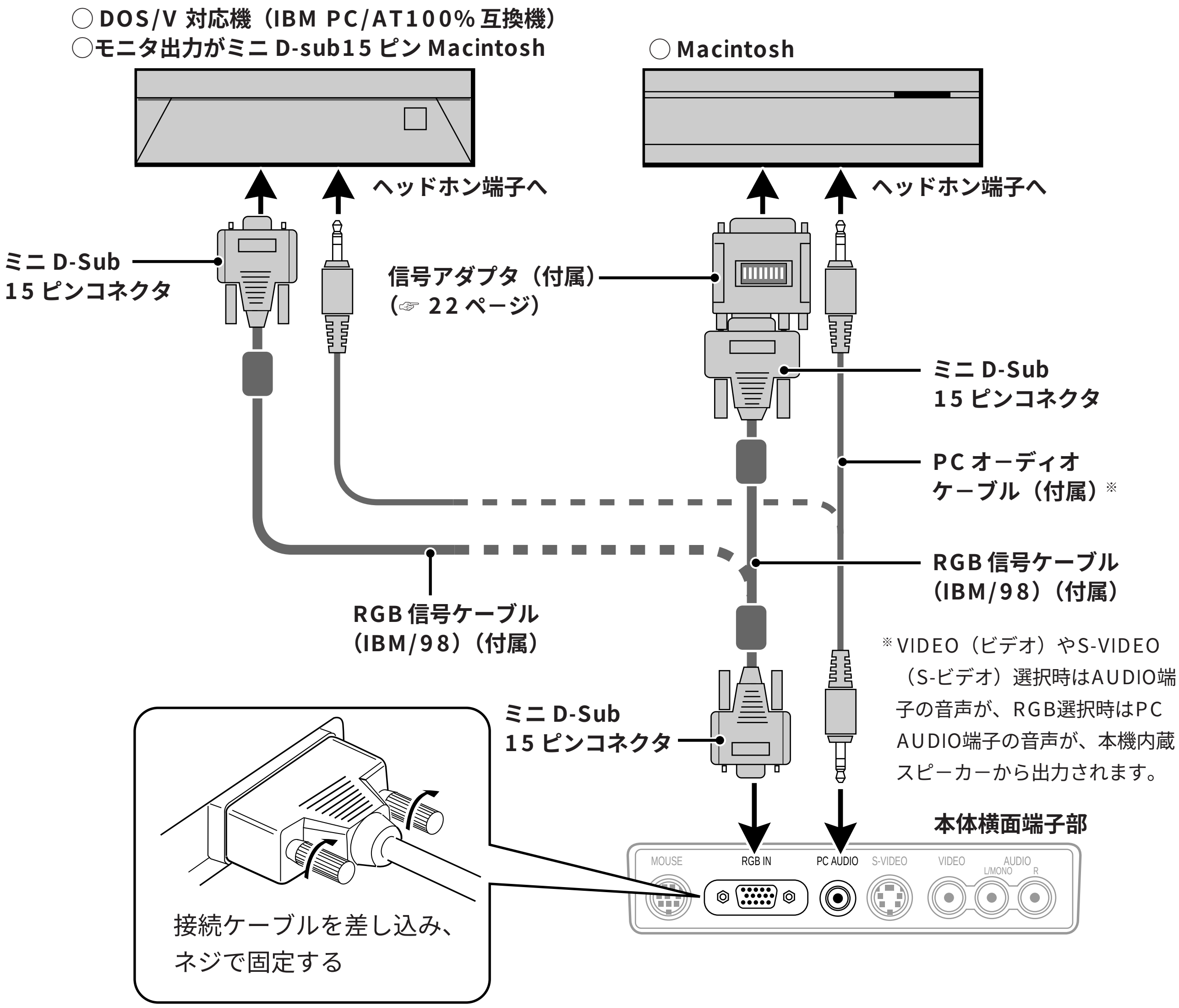


※音声がモノラルの場合は、L/MONO端子に接続してください。

IBM PC／AT、Macintoshを接続する

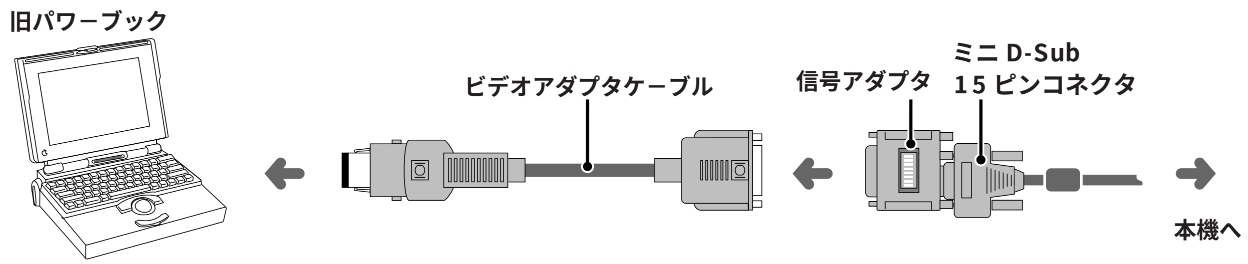
パソコンのアナログ RGB 出力コネクタと本機の RGB INPUT を接続するとディスプレイとして多用途にお使いいただけます。

- Macintoshを接続する場合、U2-1080に適したモードはXGAモードの1024×768ドット設定です。
  U2-870に適したモードはS-VGAの800×600ドット設定です。
  Macintosh側がこのモードに対応している場合、この設定を行うことを推奨します。
- Macintosh PowerBookを使用する場合、「ミラーリング」をOFFにしないと外部出力を上記のドットに設定できないことがあります。
  Macintoshの設定方法はパソコンの取扱説明書をお読みになるか、メーカーへお問い合わせください。



※VIDEO（ビデオ）やS-VIDEO（S-ビデオ）選択時はAUDIO端子の音声が、RGB選択時はPC AUDIO端子の音声が、本機内蔵スピーカーから出力されます。

- Macintoshの旧PowerBookを接続する場合は、アップル社純正の専用ビデオアダプタケーブルが必要です。



（次ページへ続く）

■ 信号アダプタ(Mac)のディップスイッチの設定をする

下の「RGB 信号変換アダプタ(Mac)モード設定表」と「ディップスイッチ設定表」を参考に、ディップスイッチを希望するモードに設定してください。設定終了後 Macintosh をスタートしてください。

RGB信号変換アダプタ(Mac)モード設定表

U2-1080

条　件	簡単な設定 (解像度固定)	起動後、Macintosh上で解像度を選択する設定
デスクトップ機および本体液晶パネルが800×600ドットのPower Book	19インチ固定モード(Macの出力は1024×768ドットになります。)	17インチマルチスキャンモード(1024×768ドットに設定してください。)
本体パネルが640×480ドットのPower Book	13インチ固定モード(Macの出力は640×480ドットになります。)	17インチマルチスキャンモード(1024×768ドットに設定してください。)
デスクトップ機で、より広い領域を映したい場合	21インチ固定モード(Macの出力は1152×870ドットになります。プロジェクタの表示はAccuBlendになります。)	21インチマルチスキャンモード(1152×870ドットに設定してください。プロジェクタの表示はAccuBlendになります。)

U2-870

条　件	簡単な設定 (解像度固定)	起動後、Macintosh上で解像度を選択する設定
デスクトップ機および本体液晶パネルが800×600ドットのPower Book	16インチ固定モード(Macの出力は832×624ドットになり、プロジェクタの表示はAccuBlendになります。)	VGA/S-VGAモード(800×600ドットに設定してください。)
本体パネルが640×480ドットのPower Book	13インチ固定モード(Macの出力は640×480ドットになります。)	17インチマルチスキャンモード(640×480ドットに設定してください。)
デスクトップ機で、より広い領域を映したい場合	19インチ固定モード(Macの出力は1024×768ドットになります。プロジェクタの表示はAccuBlendになります。)	17インチマルチスキャンモード(1024×768ドットに設定してください。プロジェクタの表示はAccuBlendになります。)

■ディップスイッチ設定表(●＝ON)

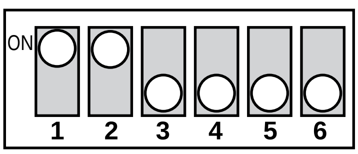
	1	2	3	4	5	6
21～13マルチモード	●	●				●
17～13マルチモード	●	●			●	
16～13マルチモード	●	●			●	●
VGA/S-VGAモード			●	●		
21"(1152×870)固定モード	●	●	●	●		
19"(1024×768)固定モード		●	●			
16"(832×624)固定モード		●		●		
13"(640×480)固定モード	●	●				

お知らせ

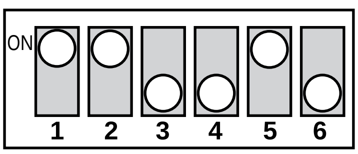
それぞれのMacintosh、及びプロジェクタ本体がサポートしている表示モード以外の設定を、ディップスイッチで設定した場合、表示が乱れたり、なにも表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshをリスタートして下さい。その後表示可能なモードに変更して、再度リスタートさせてください。
必ず信号アダプタおよび接続ケーブル（付属のRGB信号ケーブル(98/IBM)）で、Macintoshとプロジェクタを接続してからMacintoshを起動してください。

ディップスイッチ設定例：

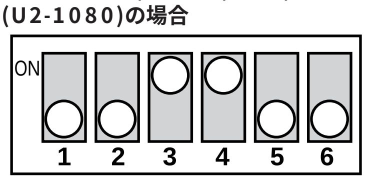
13インチ固定モードの場合



17インチマルチスキャンモードの場合



モードがVGA/S-VGA/XGA/SXGA(U2-1080)の場合



リモコンをパソコンのマウスとして使う

本機の MOUSE 端子とパソコンを接続すると、本機のリモコンを以下のようにパソコンのマウスとして使用することができます。（ワイヤレスマウス機能）

リモコンのマウス機能

- リモコンのカーソルがマウスとしてはたらきます。
- Windowsの場合、リモコンのR-CLICKボタンがマウスの右クリックボタンとして、リモコンのL-CLICKボタンがマウスの左クリックボタンとしてはたらきます。
- Macintoshの場合、リモコンのR-CLICKボタンとL-CLICKボタンは、マウスのクリックボタンとして同じはたらきをします。
- メニュー画面が表示されている間は、リモコンのカーソル、R-CLICKボタン、L-CLICKボタンはメニュー操作用としてはたらきます。

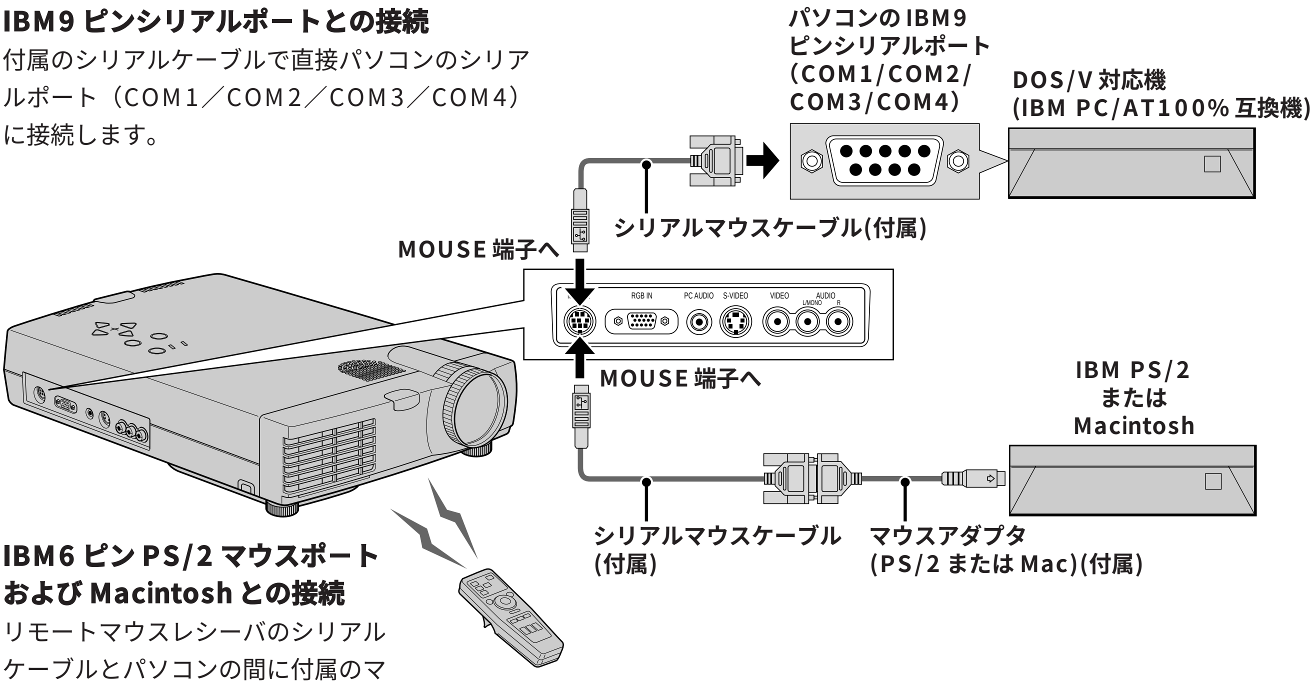
パソコンと本機の MOUSE 端子を接続する

パソコンと接続する前に

- 接続する前に、パソコンの電源を切ってください。本機の電源が入っている場合は、本機の電源も切ってください。
- 接続が終わったら、本機の電源を入れ、パソコンを起動してください。

IBM9 ピンシリアルポートとの接続

付属のシリアルケーブルで直接パソコンのシリアルポート（COM1／COM2／COM3／COM4）に接続します。



IBM6 ピン PS/2 マウスポートおよび Macintosh との接続

リモートマウスレシーバのシリアルケーブルとパソコンの間に付属のマウスアダプタ(PS/2用またはMac用)を接続します。

お知らせ

- ご使用のパソコンによっては、パソコンの電源を入れる前にリモートマウスレシーバを接続しないとマウスが認識されないことがあります。
- ノート型・ラップトップ型パソコンの場合、機種によってはリモートマウスレシーバ接続時に、パソコンに標準搭載されているポインティングデバイス（トラックボールなど）が使用できなくなることがあります。この場合、リモートマウスレシーバを取り外しても、再起動するまでパソコン本体側のポインティングデバイスは使用できません。

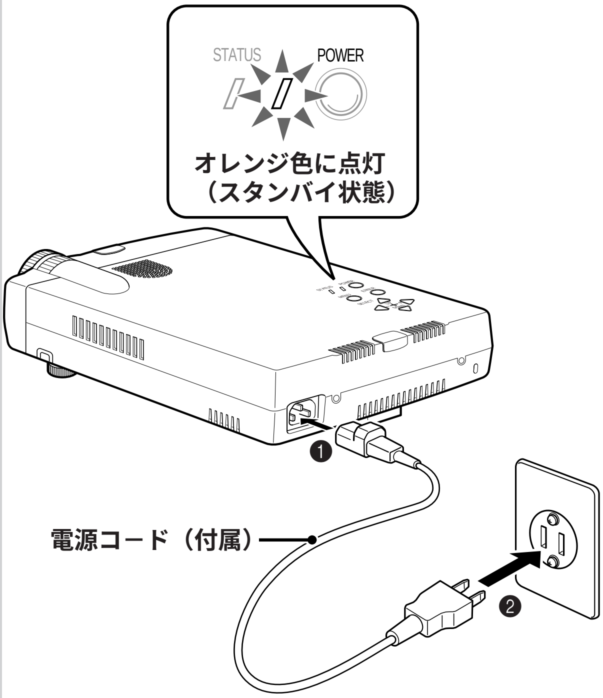
プロジェクタを使用する

ご使用の前に

レンズキャップをはずしてください。

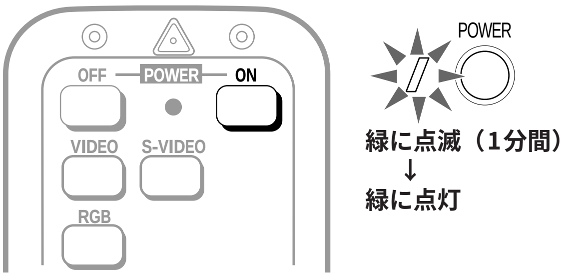
1 電源コードを接続する

POWERインジケータがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。



2 リモコンのPOWER ONボタン、または本体のP0WERボタンを押して、電源を入れる

POWERインジケーターが緑に変わり、1分間点滅したあとに点灯します。



お知らせ

- ●緑に点滅している間は、POWER OFF、POWERボタンを押してもOFFにはなりません。
- ●オートスタートをONにすると、電源コードを接続するだけで立ち上がります。（☞ 44ページ）

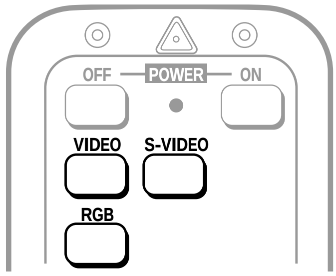
3 使用する外部機器の電源を入れる

パソコン、ビデオ機器などの電源を入れます。

ビデオ機器は映像調整のため、再生状態にしてください。

4 リモコンのVIDEO（ビデオ）、S-VIDEO（S-ビデオ）、RGBボタンのどれかを押して、入力を選ぶ

メニュー画面で入力を選ぶこともできます（☞ 32ページ）。



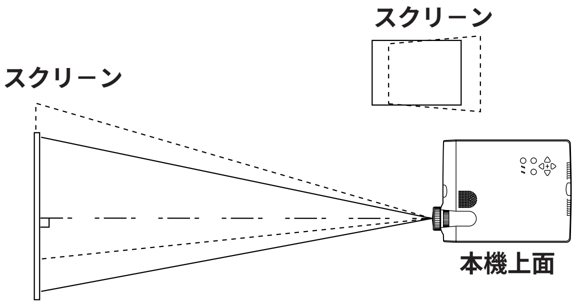
お知らせ

- ●選んだ入力の端子が接続されていないとき、接続した機器の電源が切れているとき、信号が本機に出力されていないときは、ブルーバックまたはブラックバック（バックグラウンドの設定によって変わります。☞ 34ページ）が投影されます。
- ●パソコンを接続している場合、本機に信号が出力されていない場合があります。このときは、「パソコンの外部出力信号を出力するには」（☞ 27ページ）を参照してください。

5 プロジェクタの向きと高さを調整する

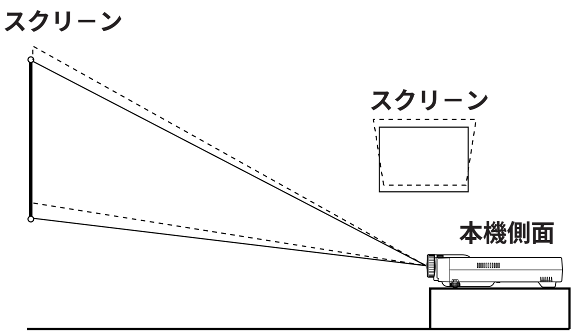
● スクリーンが横に歪んでいるときは

プロジェクタの正面がスクリーンと平行になるようにプロジェクターの向きを調整します。



● スクリーンが縦に歪んでいるときは

画面の高さがスクリーン位置に合うように台の高さを調整したり、次ページのようにアジャスターを調整します。



アジャスターの調整

アジャスターは本体の正面の左右に2つ、後に1つ、計3つあります。

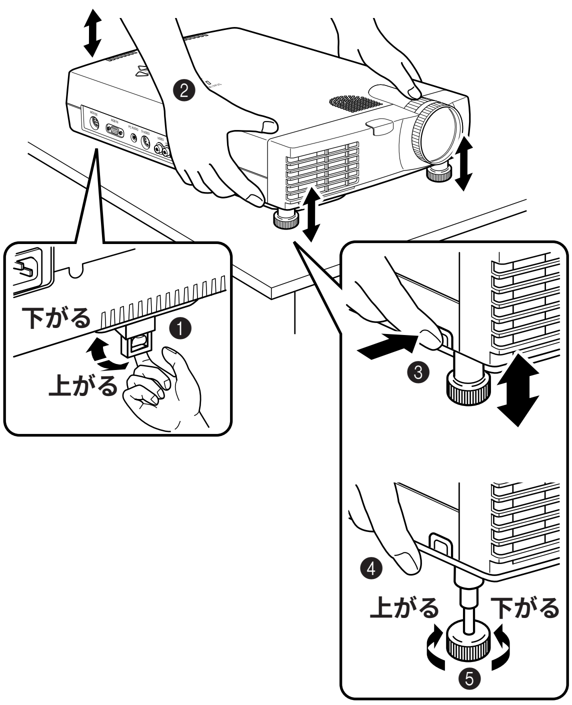
❶ **投射画像の位置を低くするときは、後部アジャスターを調節する。**

❷ **調整したいおおよその角度を本体前部を両手で持ち上げる。**

❸ **前部アジャスター脇の左右のボタンを同時に押す。**
アジャスターの脚がゆるみ、ストンと下に伸びます。

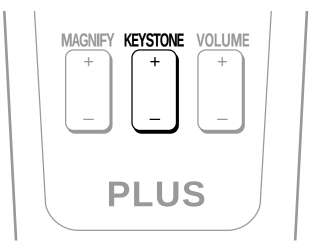
❹ **ボタンをはなす。**
アジャスターの脚が伸びたまま固定されます。

❺ **アジャスターの接面部を左右どちらかに回して高さの微調整をする。**



6 投射画像の台形の歪みがアジャスターで補正しきれないときは、リモコンのKEYSTONE +/−ボタンを押して、微調整する（KEYSTONE（キーストーン）調整）

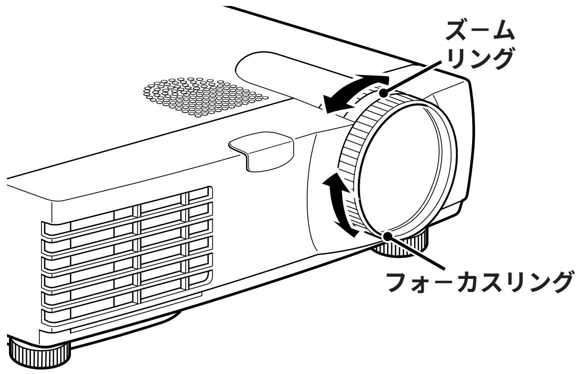
メニュー画面でKEYSTONE調整をすることもできます（☞ 33ページ）。



お知らせ

補正量は最大29°です。（光学補正量を含みます。）

7 ズームリングで画面サイズを合わせ、次にフォーカスリングでピントを調整する



8 本機の設置方法、選んだ入力に合わせた設定をする

- **プロジェクタの設置方法に合った『投射方法』を選びます。（☞ 34ページ）**
画像が左右、上下逆になっているときは、『投射方法』を設定し直します。

- **ビデオ、S-ビデオ入力のときは、必要に応じてカラー方式を選びます。（☞ 35ページ）**
入力信号がNTSC 3.58（日本で採用されている方式）の場合は、工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- **RGB入力のときは、必要に応じて接続したパソコンの映像調整をします。**
本機は自動的に入力信号を識別して最適な解像度を選びます（☞ 36ページ）。
しかし、ちらつきや、ノイズ、色ずれなどがあるときは、クロック周波数や位相を（☞ 37ページ）、画面位置がずれているときは垂直、水平方向の画面位置を（☞ 38ページ）、それぞれマニュアルで調整してください。
マニュアル調整の場合は、入力信号解像度をオリジナルサイズで投射することもできます（☞ 39ページ）。（通常は解像度を自動判別し、拡大／縮小表示します。）

9 画像の調整や、映像内容にあった調整をする

入力ごとに以下のような調整ができます。

- 画像調整（☞ 40ページ）
- 映像内容に合わせた設定（☞ 42ページ）

（次ページへ続く）

10 プロジェクタの使用を開始する

使用中、以下の機能が使えます。

- ボリュームを調節する（☞ 28、43ページ）
- レーザーポインタを使う（☞ 28ページ）
- 映像と音声を一時的に消す（☞ 28ページ）
- 動画を静止する（☞ 28ページ）
- 画面を拡大する（☞ 29ページ）
- 拡大したい部分を選んでから、拡大する（☞ 30ページ）

お知らせ

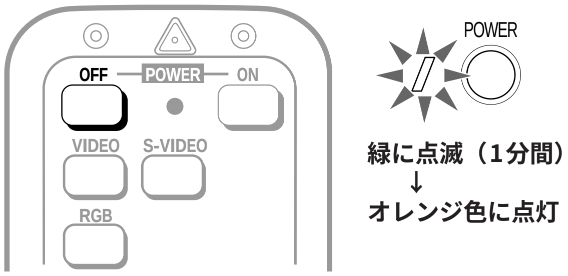
RGB入力のときは、パワーマネジメント（節電）機能をONに設定すると（☞ 44ページ）、5分間信号の入力がないと自動的にスタンバイ状態になります。
パソコン接続時に画面に何も映らなくなったときはパソコンのスクリーンセーバーか、パソコンのパワーマネジメントがはたらいている可能性があります。

■ プロジェクタを使い終わったら

1 リモコンのPOWER OFFボタン、または本体のPOWERボタンを長めに押す

電源が切れ、POWERインジケータが緑に1分間点滅したあと、オレンジ色に変わってスタンバイ状態になります。

インジケータが点滅している間は電源コードを抜かないでください。



お知らせ

- 点滅が終了するまで、リモコンのPOWER ON、本体のPOWERボタンを押してもオンになりません。
- パワーオフにしたあと、再度オンにするときは、必ず1分以上間をあけてください。すぐにオンにすると、ランプの寿命を縮め、故障の原因にもなります。（1分以上待たないと、電源が入らない場合もあります。）

2 電源コードを抜く

POWERインジケータが消えます。

■ パソコンの外部出力信号を出力するには

パソコンを接続して投射する際、ケーブル接続とパソコン起動の手順や、パソコン起動後の操作など、必要な知識があります。うまく映らないという時にチェックしてみてください。

1 パソコンの起動について

参考 本機のリセットメニューの表示（☞ 46ページ）で0KHz表示されている時は、パソコンから外部出力信号が出ていません。

2 パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノート型パソコンの場合上記の手順でパソコンを起動しても、外部出力信号を出力させるために更に操作が必要な場合があります。ノート型パソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません。

参考 **外部出力させる操作の例**

・IBM PC/AT, DOS/V機の場合：Fnキー＋「F1〜F12キーのいずれか（下記表参照）」を押す。

メーカー名	機種	キー
CANON	INNOVA NOTE 4600	Fn + F12
COMPAQ		Fn + F3
DEC	Digital HiNote	Fn + F4
DELL	全機種	Fn + F8
FUJITSU	全機種	Fn + F10
GATEWAY		Fn + F3
HITACHI	PRIUSNOTE 270	Fn + F7
	PRIUSNOTE 250	Fn + F7
	PRIUSNOTE 210	Fn + F4
IBM	ThinkPad 235	Fn + F4
	ThinkPad 310E	Fn + F3
	ThinkPad 315D	Fn + F3
	ThinkPad 385XD	Fn + F7
	ThinkPad 535X	Fn + F7
	ThinkPad 560X	Fn + F7
	ThinkPad 600	Fn + F7

メーカー名	機種	キー
NEC	LAVIE NXシリーズ	Fn + F3
	PC9821 NRシリーズ Windowsの『プログラム』、『スタートアップ』を順に開き、『画面切替ユーティリティ』を選ぶ	
Panasonic	全機種	Fn + F3
SAMSUNG	全機種	Fn + F5
SANYO	MBC-S950 & 900	Fn + F3
	MBC-S800	Fn + F2
	MBC-S340E	Fn + F9
SHARP	全機種	Fn + F5
SONY	全機種	Fn + F7
SOTEC	BIRD/V 166MT	Fn + F1
	EAGLE 266MTX	Fn + F3
TOSHIBA	全機種	Fn + F5

注）表の内容は1999年4月現在のものです。

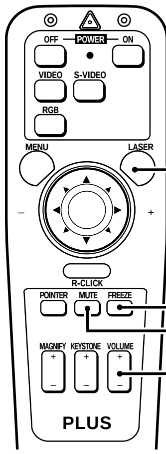
3 ノート型パソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノート型パソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投射された画面が正常ではない場合があります。多くの場合、ノート型パソコンの制約により同時表示(パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合）の際は、周波数などが標準的規格に合った信号を出力できない場合があり、この際の外部出力信号が、本機で対応できる範囲の信号から大きくはずれている場合、調整を行っても正常に表示がされない場合があります。

参考 ノート型パソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（前記の**2**の操作等によって、または液晶パネルを閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと外部出力信号が標準的規格に合った信号になる場合があります。

使用する

使用中の便利な機能



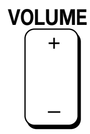
■ ボリュームを調節する

本機スピーカーから出る音声の大きさを調節します。

VOLUME＋／－ボタンを押す

＋側を押すと大きく、－側を押すと小さくなります。

メニュー画面でボリュームを調節することもできます（☞ 43ページ）。



■ 映像と音声を一時的に消す ーミュート機能

MUTEボタンを押す

もう一度押すとミュート機能が解除されます。



■ レーザーポインタを使う

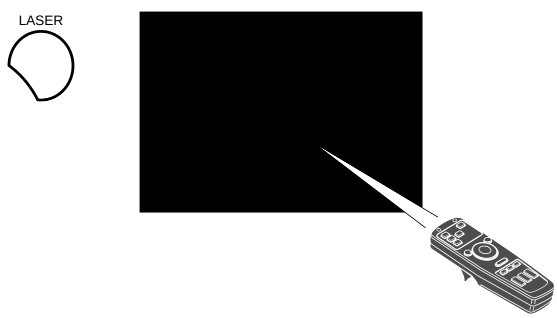
プレゼンテーションなどで、スクリーンの説明したいところを指すときなどに便利です。

ご注意

レーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起すことがあります。

LASERボタンを押す

リモコンの先端からレーザー光（赤い光）が出ます。ボタンを離すと光りが消えます。



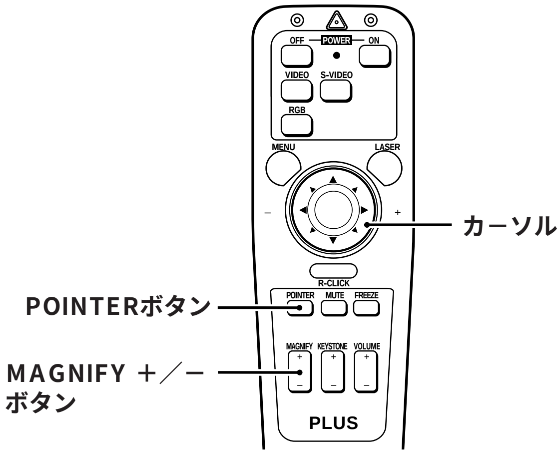
■ 動画を静止する

FREEZEボタンを押します。もう一度押すと静止が解除されます。



ヒント

静止画像を拡大する（☞ 29, 30ページ）こともできます。



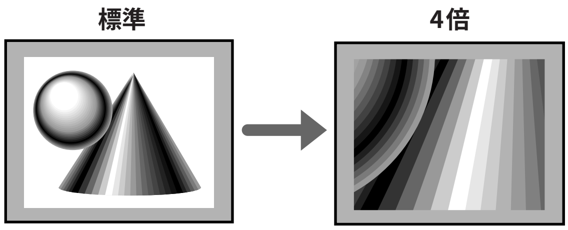
■ 画面を拡大する

4倍まで無段階に拡大できます。

MAGNIFYボタンの+側を押す

押し続けると4倍まで無段階で拡大します。





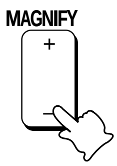
お知らせ

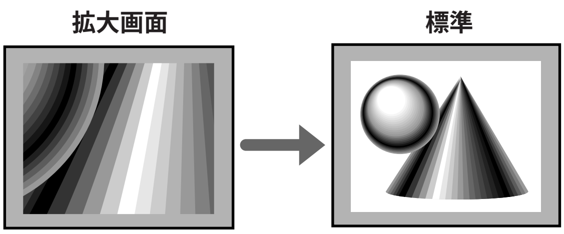
画面を拡大すると、表示は粗くなります。

拡大画面を縮小する

MAGNIFYボタンのー側を押す

押し続けると、標準サイズまで戻ります。

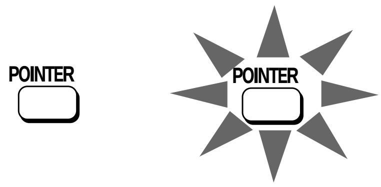




拡大画面の表示されている場所を移動する

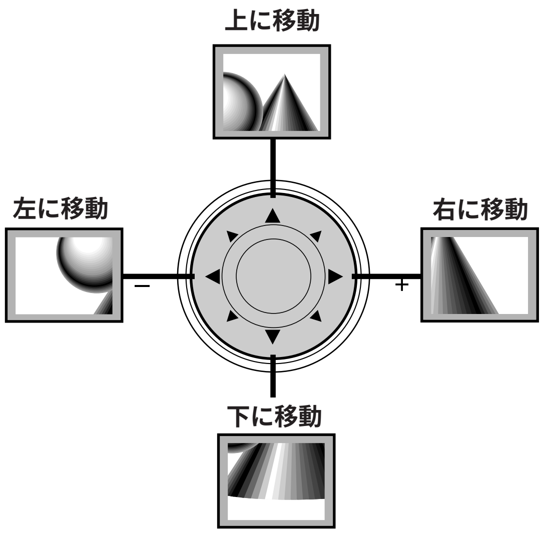
1 画面を拡大したあとに、POINTER（ポインター）ボタンを押す

POINTERボタンが赤く点灯します。
（10秒以内に手順**2**を行わない場合は、消灯します。）



2 POINTERボタンが点灯している間に、移動したい方向のカーソルを押す

上下左右各斜めの8方向に移動することができます。



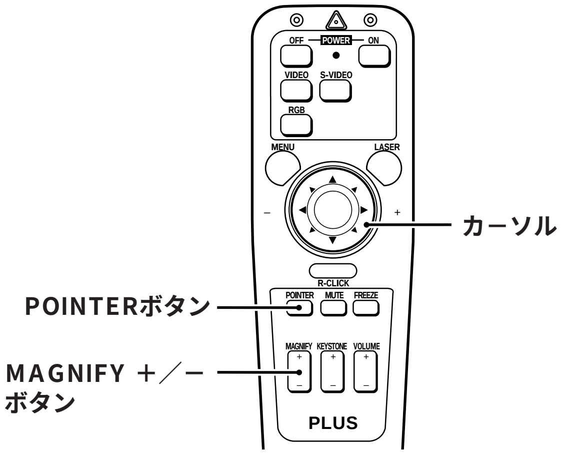
お知らせ

標準サイズの画面はフルサイズ表示されていますので、画面の移動はできません。

使用する

（次ページへ続く）

使用中の便利な機能（つづき）



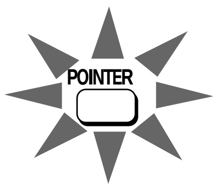
■ 拡大したい付近を選んでから、拡大する

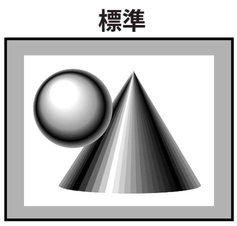
拡大付近をポインターで指定してから、無段階に4倍まで拡大できます。

1 等倍表示（標準）の画面で、POINTER（ポインター）ボタンを押す

POINTERボタンが赤く点灯し、ポインターがスクリーンに表示されます。（10秒以内に手順**2**を行わない場合は、消灯します。）





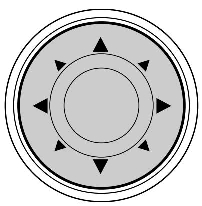


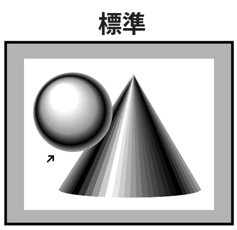
お知らせ

- メニュー画面でポインターを表示することもできます（☞ 35ページ）。
- 表示されるポインターを8種類の中から選んで変更することができます（☞ 35ページ）。

2 POINTERボタンが点灯している間にカーソルを押して、拡大したい付近にポインターを移動させる

上下左右各斜めの8方向に移動することができます。

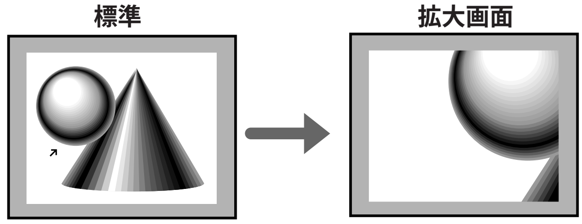




3 MAGNIFYボタンの+側を押す

押し続けるとポインターが示している付近を、4倍まで無段階で拡大します。





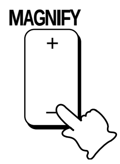
お知らせ

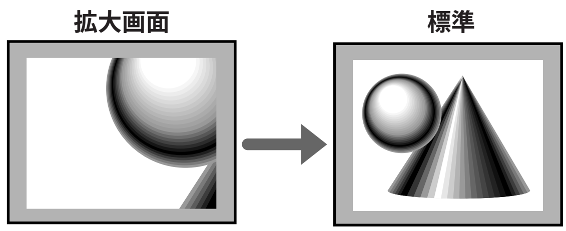
画面を拡大すると、表示は粗くなります。

拡大画面を縮小する

MAGNIFYボタンの－側を押す

押し続けると、標準サイズまで戻ります。





メニュー画面の構造

（　）内の数字は、参照先のページです。

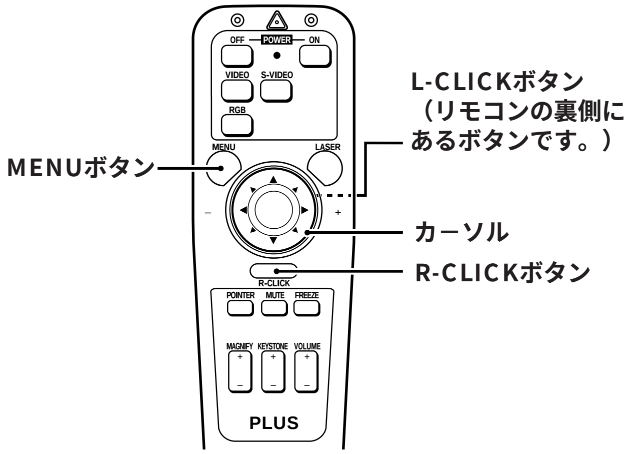
お知らせ

画面が少しでも拡大されていると、メニュー画面は表示されません。必ず標準サイズの画面に戻してから（「拡大画面を縮小する」、☞ 30ページ）、操作してください。

- 入力メニュー（32）
  - ビデオ 自動（32）
  - S-ビデオ 自動（32）
  - RGB 自動（32）
- 画像メニュー（37）
  - **ビデオ、S-ビデオ入力のとき**
    - ボリューム −＋（43）
    - イメージモード ノーマル（42）
    - キーストーン −＋（33）
    - 明るさ −＋（40）
    - コントラスト −＋（40）
    - カラー −＋（40）
    - 色相 −＋（41）
    - シャープネス −＋（41）
  - **RGB入力のとき**
    - ボリューム −＋（43）
    - イメージモード ノーマル（42）
    - キーストーン −＋（33）
    - 明るさ −＋（40）
    - コントラスト −＋（40）
    - ホワイトバランス（41）
      - 明るさR −＋（41）
      - 明るさG −＋（41）
      - 明るさB −＋（41）
      - コントラストR −＋（41）
      - コントラストG −＋（41）
      - コントラストB −＋（41）
    - RGB自動モード ON（41）

      『RGB自動モード』を『OFF』にしたときのみ、以下のメニューが表示されます。
    - RGB自動モード OFF（37）
    - 水平 −＋（38）
    - 垂直 −＋（38）
    - クロック周波数 1160（37）
    - 位相 64（38）
    - 解像度 自動（39）
- 電源メニュー（33）
  - ランプ使用時間 0時間（45）
  - オートスタート OFF（44）
  - パワーマネジメント OFF（44）
  - キーストーンセーブ OFF（33）
  - オンスクリーンメニュー ON（43）
- 詳細メニュー（34）
  - イメージバランス ノーマル（42）
  - バックグラウンド ブルーバック（34）
  - ビデオスタンダード 自動（35）
  - 投射方法 フロント／テーブル（34）
  - ランゲージ 日本語（45）
  - ポインタ ポインタ1（35）
  - リセット 48KHz／60Hz（46）

入力を選ぶ（メニューの基本操作）



1 **MENUボタンを押す**

MENUボタンが赤く点灯し、メインメニューが表示されます。10秒以内に手順**2**を行わないと消えます。

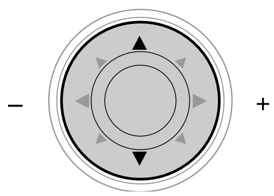


お知らせ

画面が少しでも拡大されていると、メニュー画面は表示されません。必ず標準サイズの画面に戻してから（「拡大画面を縮小する」、☞ 29, 30ページ）、操作してください。

入力メニュー
画像メニュー
電源メニュー
詳細メニュー

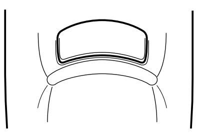
2 **カーソルの▲／▼を押して、『入力メニュー』を選ぶ**



入力メニュー
画像メニュー
電源メニュー
詳細メニュー

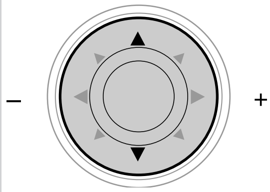
3 **L-CLICKボタンを押す**

入力メニューが表示されます。



ビデオ
自動
S-ビデオ
自動
RGB
自動

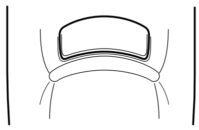
4 **カーソルの▲／▼を押して、入力を選ぶ**



ビデオ
自動
S-ビデオ
自動
RGB
自動

5 **L-CLICKボタンを押す**

手順**4**の設定が確定され、スクリーンに選んだ入力の画像が投影されます。



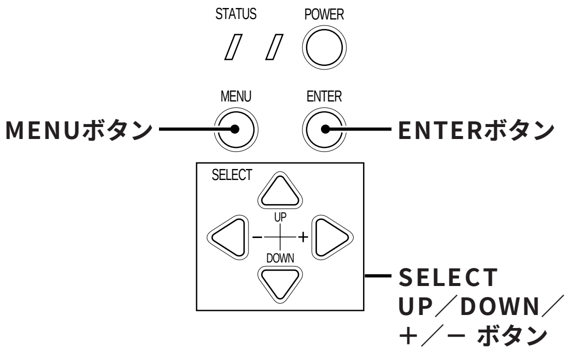
6 **R-CLICKボタンを押す**

メニューが消え、通常画面に戻ります。



■ 本体で操作するときは

メニュー画面はリモコン操作により説明していますが、本体でも操作できます。本体で操作するときは下のリモコン、本体ボタン対応表を参照してください。



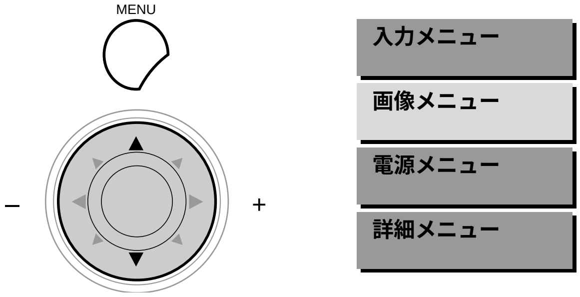
リモコン、本体ボタン対応表

リモコン	本　体
MENUボタン メニューを消すときは、R-CLICKボタンを押します。	MENUボタン メニューを消すときは、リモコンのR-CLICKボタンを押します。
カーソル▲／▼ボタン	SELECT UP／DOWNボタン
カーソル＋／－ボタン	SELECT ＋／－ボタン
L-CLICKボタン	ENTERボタン

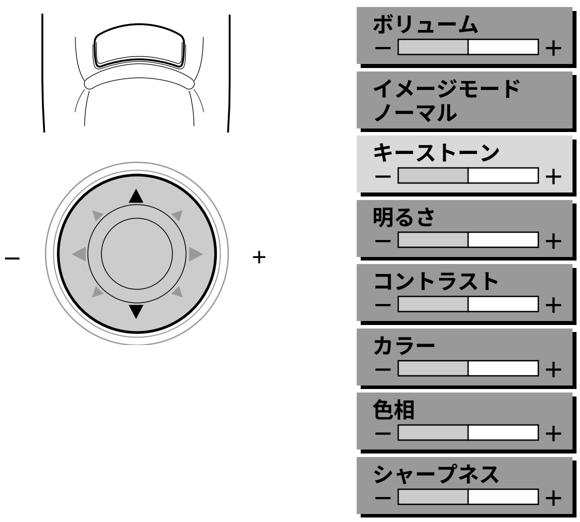
KEYSTONE（キーストーン）調整をする

投射画像の台形の歪みをアジャスターで補正しきれないときにする微調整です。
電源を切らない限り、別の入力に切り換えても調整した内容が保持されます。
リモコンのKEYSTONE +/ーボタンで調整をすることもできます（☞ 25ページ）。

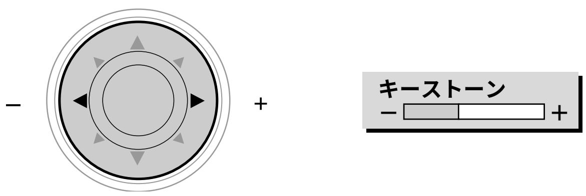
1 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『画像メニュー』を選ぶ**



2 **L-CLICKボタンを押して画像メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『キーストーン』を選ぶ**



3 **カーソルの＋／ーを押して、歪みを調整する**



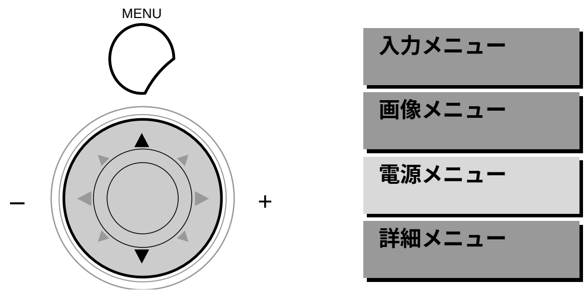
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

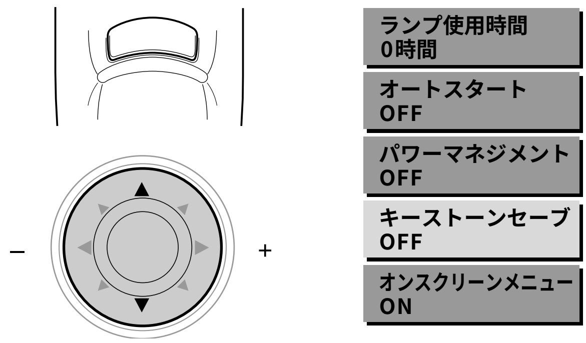
調整した値を保存する

KEYSTONE調整をしても、電源をおとすと、工場出荷時の値に戻ります。
一度調整した値を保存するときは、調整後に『キーストーンセーブ』を『ON』にしてください。

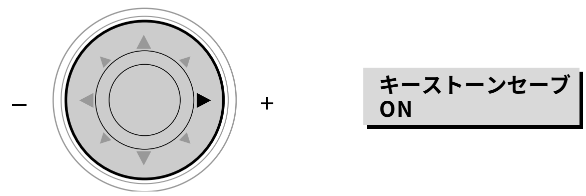
1 **KEYSTONE調整後、MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『電源メニュー』を選ぶ**



2 **L-CLICKボタンを押して電源メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『キーストーンセーブ』を選ぶ**



3 **カーソルの＋を押して、『ON』にする**



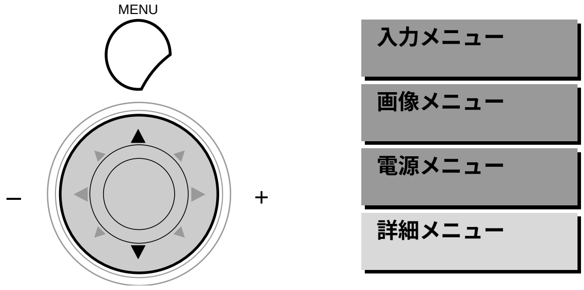
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

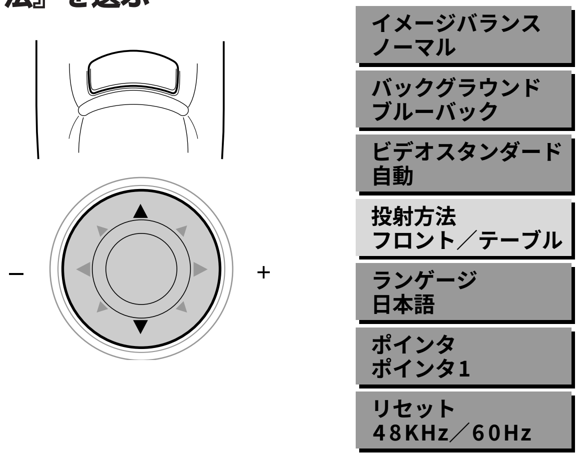
投射方法を選ぶ

投射方法が設置条件に合うように設定されていないと、映像が上下逆になったり、左右逆になったりします。

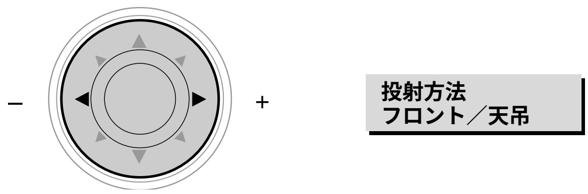
1 MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ



2 L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『投射方法』を選ぶ



3 カーソルの＋／ーを押して、設定条件に合った投射方法を選ぶ

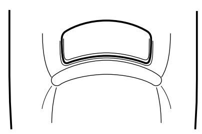


押すごとに以下のように変わります。

フロント／テーブル ⇔ リア／天吊（上下左右逆）
⇕ ⇕
フロント／天吊（上下逆）⇔ リア／テーブル（左右逆）

4 L-CLICKボタンを押す

手順**3**で設定した画面に変更されます。



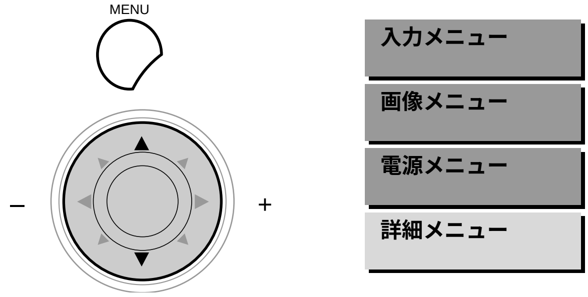
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

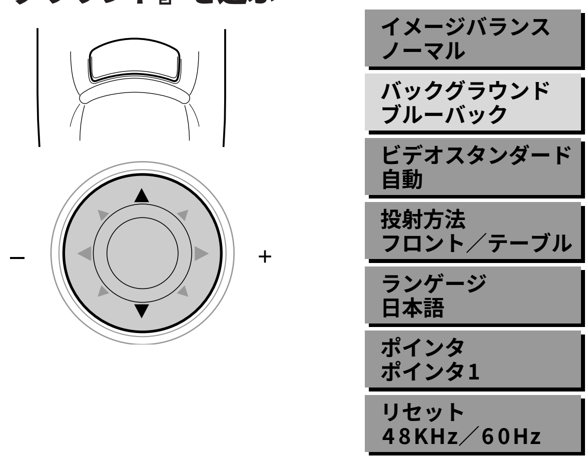
バックグラウンドを選ぶ

信号入力がないときに投影されるバックグラウンドを3種類のなかから選ぶことができます。

1 MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ

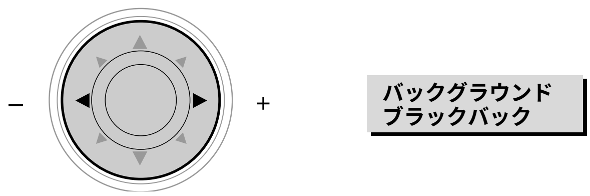


2 L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『バックグラウンド』を選ぶ



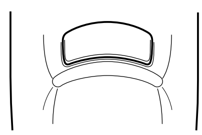
3 カーソルの＋／ーを押して、以下のうちからお好みのバックグラウンド選ぶ

- ブルーバック
- ブラックバック



4 L-CLICKボタンを押す

手順**3**で設定した画面に変更されます。



メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

カラー方式を選ぶ

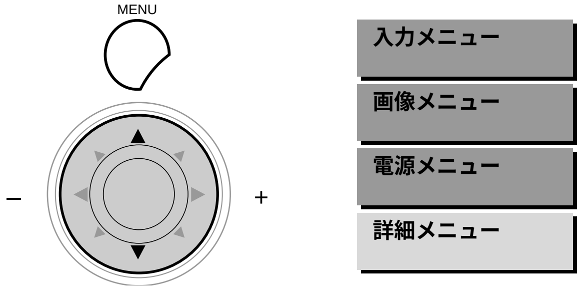
本機で対応しているカラー方式は、以下の通りです。

- ● NTSC 3.58
- ● PAL方式（PAL-M、PAL-N以外※）
- ● SECAM
- ● NTSC 4.43

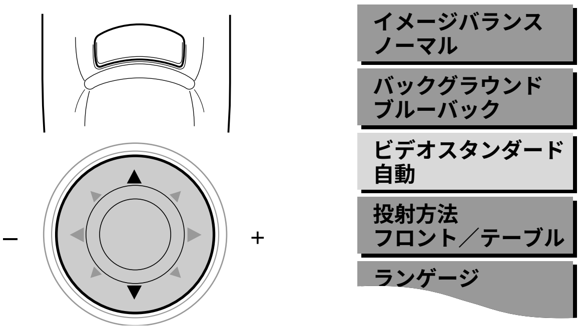
※ 本機はPAL-MやPAL-N方式には対応していません。

NTSC 3.58（日本で採用されている方式）とPALの場合は、『ビデオスタンダード』を『自動』（工場出荷時の値）にすると自動判別されます。SECAMとNTSC4.43の場合はマニュアルで『SECAM』または『4.43NTSC』を選択ししてください。

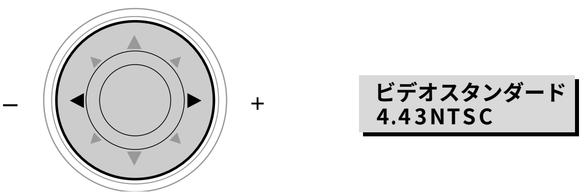
1 MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ



2 L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『ビデオスタンダード』を選ぶ

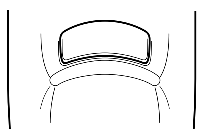


3 カーソルの＋／ーを押して、カラー方式を選ぶ



4 L-CLICKボタンを押す

手順**3**で設定したカラー方式に変更されます。



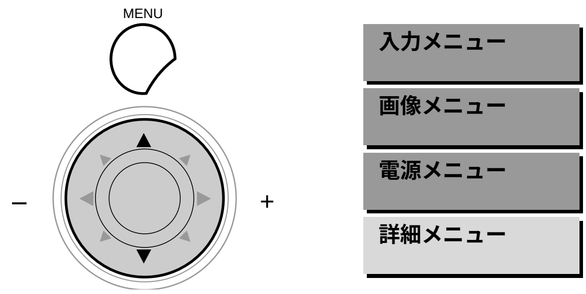
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

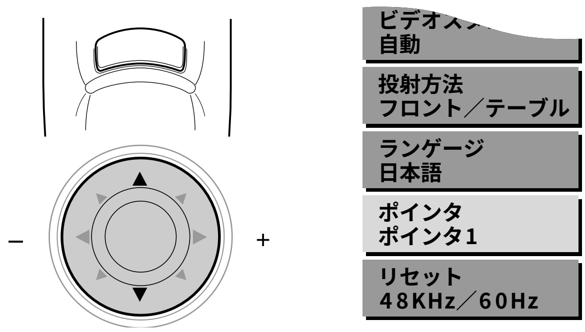
ポインタを選ぶ／表示する

等倍画面（拡大されていないとき）のときにリモコンのPONTERボタンを押すと、ポインターがスクリーンに表示されますが（☞ 30ページ）、以下のようにメニューから表示することもできます。
メニューからポインターを表示するときは、ポインターの種類を選ぶことができます。

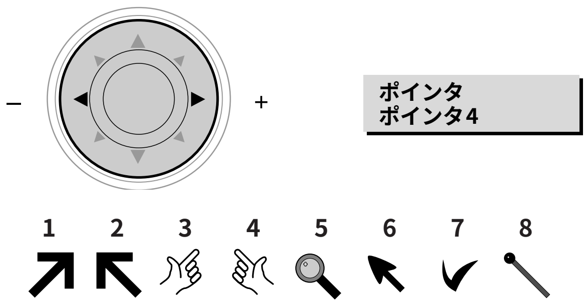
1 MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ



2 L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『ポインタ』を選ぶ

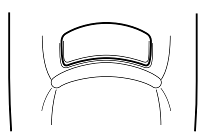


3 カーソルの＋／ーを押して、以下のうち（『ポインタ1〜8』）からお好みのポインタ選ぶ



4 L-CLICKボタンを押す

手順**3**で設定したポインタに変更され、スクリーンにポインタが表示されます。



メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

パソコン画像をマニュアル調整する

本機は自動的にパソコンからの入力信号を識別し、下の表に対応する最適な解像度を選びます（『RGB自動モード』の設定が『ON』のとき…☞ 37ページ）。しかし、パソコンによっては以下のようなマニュアルでの調整が必要な場合があります。

● 縦のちらつきやノイズ、ちらつき、色ずれなどがあるとき→クロック周波数や位相の調整（☞ 37ページ）

● 画面位置がずれているとき→画面位置の垂直、水平方向の調整（☞ 38ページ）

マニュアル調整の場合は、入力信号解像度をオリジナルサイズで投射することもできます（☞ 39ページ）。（通常は解像度を自動判別し、拡大／縮小表示します。）

対応解像度一覧表

本機で推奨されるRGB入力信号内容は、次の通りです。

パーソナルコンピュータ	表示解像度	走査周波数..水平(kHz)	走査周波数..垂直(Hz)
DOS/V, PC-98NX （IBM PC/AT互換機）	640 x 350	31.5	70.1
	640 x 350	37.9	85.1
	720 x 350	31.5	70.0
	640 x 400	31.5	70.1
	640 x 400	37.9	85.1
	720 x 400	31.5	70.0
	720 x 400	37.9	85.0
	640 x 480	31.5	60.0
	640 x 480	37.9	72.8
	640 x 480	37.5	75.0
	640 x 480	43.3	85.0
	800 x 600	35.2	56.3
	800 x 600	37.9	60.3
	800 x 600	46.9	75.0
	800 x 600	48.1	72.2
	800 x 600	53.7	85.1
	1024 x 768	48.4	60.0
	1024 x 768	56.5	70.1
	1024 x 768	58.1	72.0
	1024 x 768	60.0	75.0
	1024 x 768	68.7	85.0
	1280 x 1024	64.0	60.0
	1280 x 1024	80.0	75.0
PC-9800	640 x 400	24.8	56.4
	640 x 400	31.5	70.1
	640 x 480	31.5	60.0
	640 x 480	37.5	75.0
	800 x 600	37.9	60.3
	800 x 600	46.9	75.0
	1120 x 750	50.0	60.1
	1024 x 768	56.5	70.1
	1024 x 768	60.0	75.0
Apple Macintosh	640 x 480	35.0	66.7
	832 x 624	49.7	74.5
	1024 x 768	60.2	74.9
	1152 x 870	68.7	75.6
	1280 x 1024	81.1	76.1
Sun	1152 x 900	61.8	66.0
	1280 x 1024	74.9	69.9
	1280 x 1024	81.1	76.1
SGI	1024 x 768	49.7	60.4
	1280 x 1024	63.9	60.0
	1152 x 900	71.7	76.1
HP	1280 x 1024	78.1	72.0

AccuBlend™表示について

（U2-1080）

表示画素数は1024×768ドットです。1280×1024ドット等、1024×768ドット以外の表示解像度を表示する際（AccuBlend）、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

（U2-870）

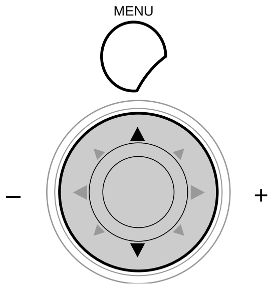
表示画素数は800×600ドットです。1024×768ドット等、800×600ドット以外の表示解像度を表示する際（AccuBlend）、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

■ クロック周波数、位相の調整をする

『RGB自動モード』が『ON』になっていると『クロック周波数』や『位相』の調整はできません。下記手順ではまず『RGB自動モード』を『OFF』にしてから、調整を行っています。

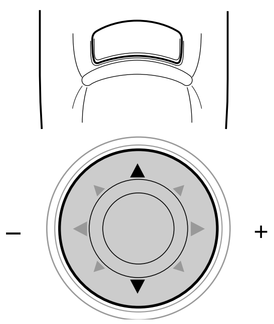
1 入力で『RGB』を選ぶ（☞ 24、32ページ）

2 MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『画像メニュー』を選ぶ



入力メニュー
画像メニュー
電源メニュー
詳細メニュー

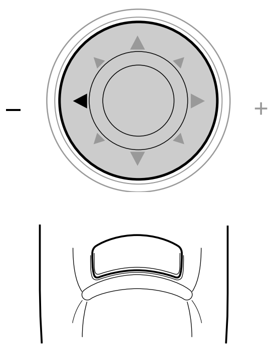
3 L-CLICKボタンを押して画像メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『RGB自動モード』を選ぶ



ボリューム – +
イメージモード ノーマル
キーストーン – +
明るさ – +
コントラスト – +
ホワイトバランス
RGB自動モード ON

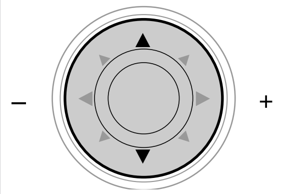
4 カーソルの－を押して、『RGB自動モード』を『OFF』にし、L-CLICKボタンを押す

『RGB自動OFF』のメニューが表示されます。



RGB自動モード OFF
↓
RGB自動モード OFF
水平 – +
垂直 – +
クロック周波数 1160
位相 64
解像度 自動

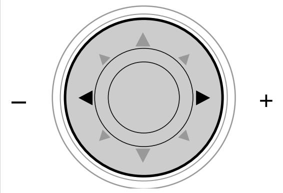
5 カーソルの▲／▼を押して『クロック周波数』を選ぶ



RGB自動モード OFF
水平 – +
垂直 – +
クロック周波数 1160
位相 64
解像度 自動

6 カーソルの＋／－を押して、スクリーンに対する映像の幅を調整する

調整はドット単位の信号で行います。縦のちらつきがなくなる位置に合わせてください。

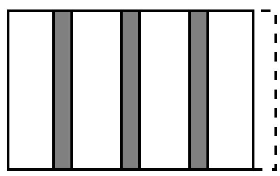


クロック周波数 800

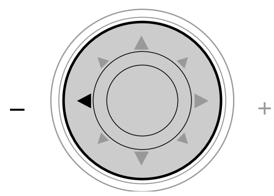
＋を押すと数字が増え、
－を押すと数字が減ります。

映像範囲が広い場合（クロック周波数が大きいとき）

カーソルの－を押して幅を狭くする

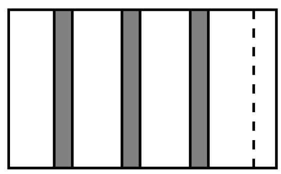


———— ：投射表示範囲
- - - - ：映像範囲幅

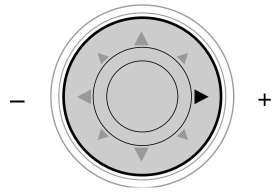


映像範囲が狭い場合（クロック周波数が小さいとき）

カーソルの＋を押して幅を広くする

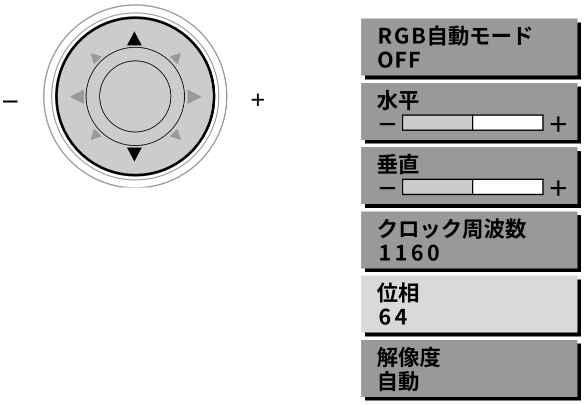


———— ：投射表示範囲
- - - - ：映像範囲幅

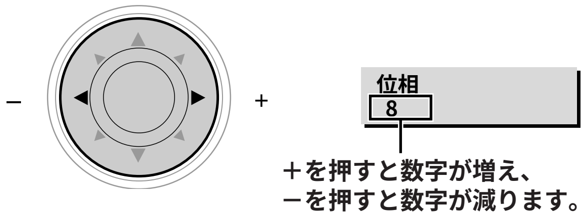


（次ページへ続く）

7 カーソルの▲／▼を押して『位相』を選ぶ



8 カーソルの＋／－を押して、映像のノイズ、ちらつき、色ずれなどが最小になるように調整する



メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

RGB端子に別のパソコン、機器を接続し直したときは

上記手順4でカーソルの＋を押して、『RGB自動モード』を『ON』に設定し直してください。自動微調整モードになります。

設定中、映像が映らなくなったときは

設定中、クロック周波数や位相が大幅にずれて映像が映らなくなったときは、次の手順にしたがってください。

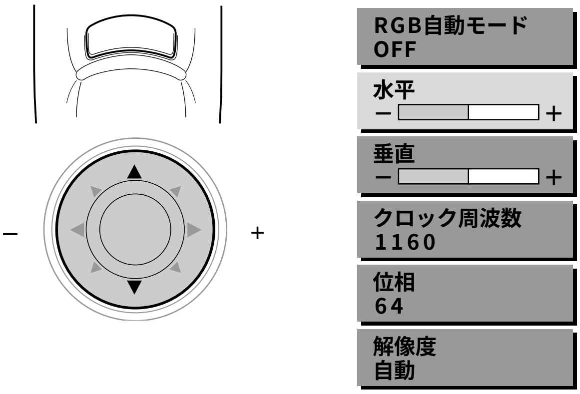
❶接続している機器の電源を切る。
入力信号が止まり、ブルーバックまたはブラックバックのいずれか（バックグラウンドの設定によって変わります。☞ 34ページ）が投影されます。
❷「リセットする」（☞ 46 ページ）を行う。
❸再度クロック周波数と位相の調整を行う。

■ 画面位置を調整する

画面が上下左右に寄っているときに、垂直位置や、水平位置を調整します。

1 「クロック周波数、位相の調整をする」（☞ 37ページ）の手順1〜4を行う

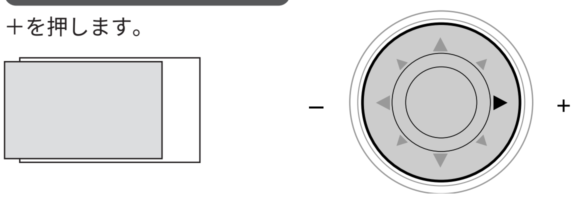
2 カーソルの▲／▼を押して『水平』を選ぶ



3 カーソルの＋／－を押して、水平方向の位置を調整する

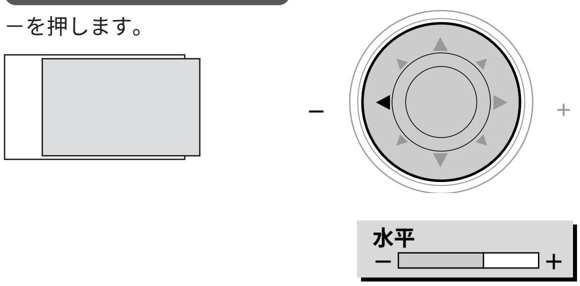
画面が左に寄っているとき

＋を押します。

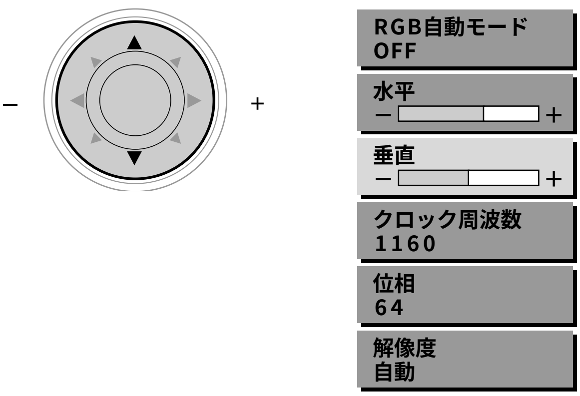


画面が右に寄っているとき

－を押します。



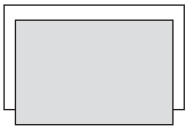
4 カーソルの▲／▼を押して『垂直』を選ぶ

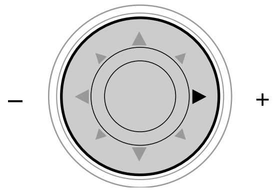


5 カーソルの＋／−を押して、垂直位置を調整する

画面が下に寄っているとき

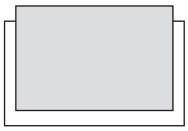
＋を押します。

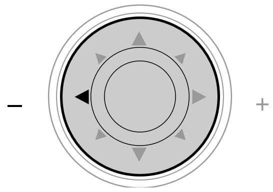


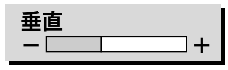


画面が上に寄っているとき

−を押します。







メニューを消すときは

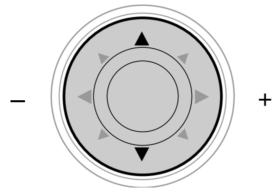
R-CLICKボタンを押します。

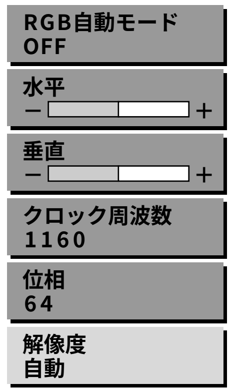
■ 解像度に合わせた最適な表示をする／オリジナルサイズで表示する

本機は通常、解像度を自動判別して拡大／縮小表示しますが、『RGB自動モード』が『OFF』のときは、入力信号解像度をオリジナルサイズで投射することもできます。

1 「クロック周波数、位相の調整をする」（☞ 37ページ）の手順1〜4を行う

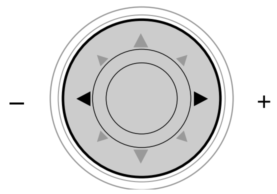
2 カーソルの▲／▼を押して『解像度』を選ぶ

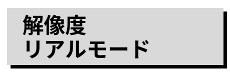




3 カーソルの＋／−を押して、『自動』もしくは『リアルモード』を選ぶ

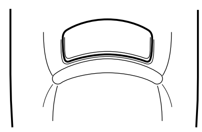
解像度を自動判別して拡大／縮小するときは『自動』を、オリジナルサイズで表示するときは『リアルモード』を選びます。





4 L-CLICKボタンを押す

3の選択が確定されます。



メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

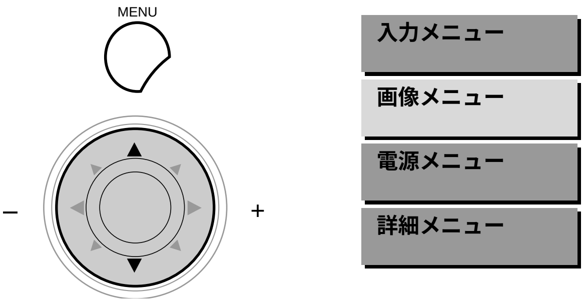
画像を調整する

入力ごとに明るさやコントラストなどの画像調整ができます。
入力によって調整する内容が違います。以下の表を参照してください。

（●が調整できる項目です。）	入力	
	ビデオ／S-ビデオ	RGB
明るさ	●	●
コントラスト	●	●
カラー	●	─
色相	●	─
シャープネス	●	─
ホワイトバランス	─	●

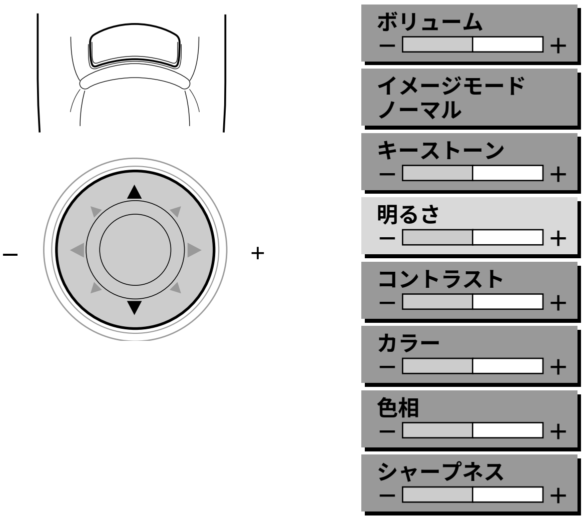
1 **画像を調整する入力を選ぶ（☞ 24、32ページ）**

2 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『画像メニュー』を選ぶ**

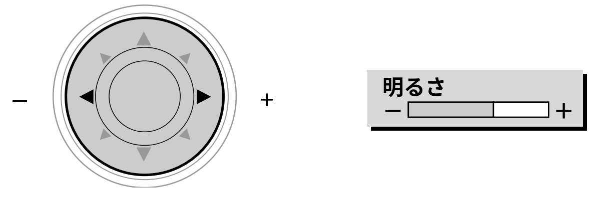


3 **L-CLICKボタンを押して画像メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『明るさ』を選ぶ**

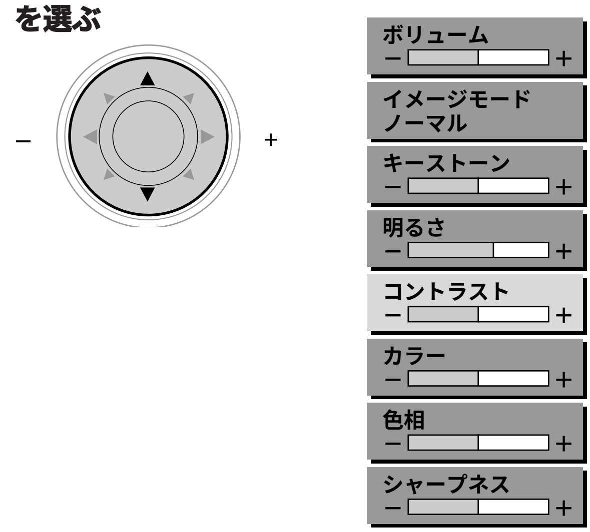
表示されるメニュー項目は、入力によって違います。



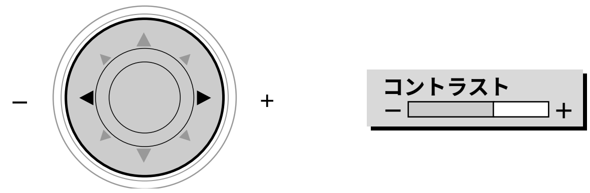
4 **カーソルの+／−を押して、明るさを調整する**



5 **カーソルの▲／▼を押して『コントラスト』を選ぶ**

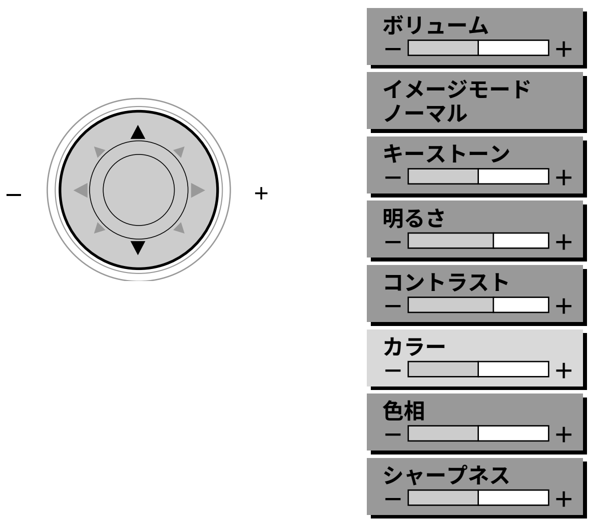


6 **カーソルの+／−を押して、コントラストを調整する**

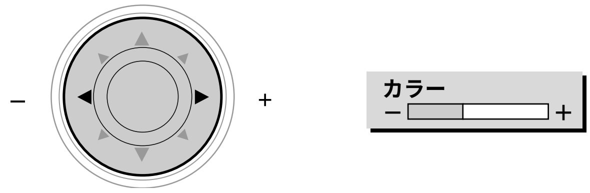


入力がビデオ、S-ビデオのとき（入力がRGBのときは次ページへ）

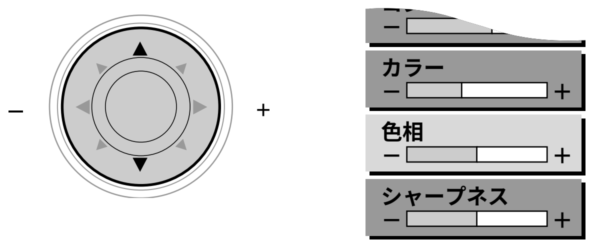
7 **カーソルの▲／▼を押して『カラー』を選ぶ**



8 カーソルの＋／ーを押して、色の濃さを調整する



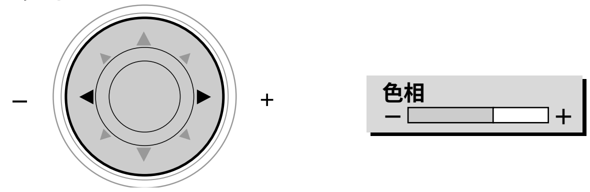
9 カーソルの▲／▼を押して『色相』を選ぶ



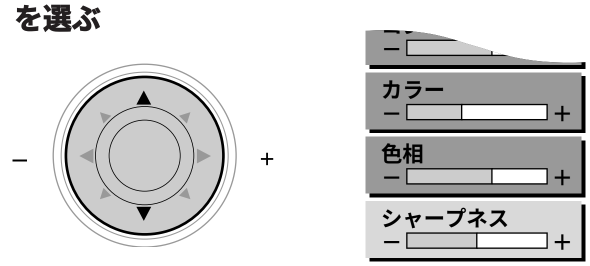
お知らせ

カラー方式がPAL、SECAMのときは、この調整は必要ありません。

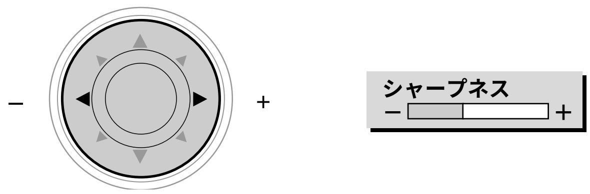
10 カーソルの＋／ーを押して、色あいを調整する



11 カーソルの▲／▼を押して『シャープネス』を選ぶ



12 カーソルの＋／ーを押して、鮮明度を調整する

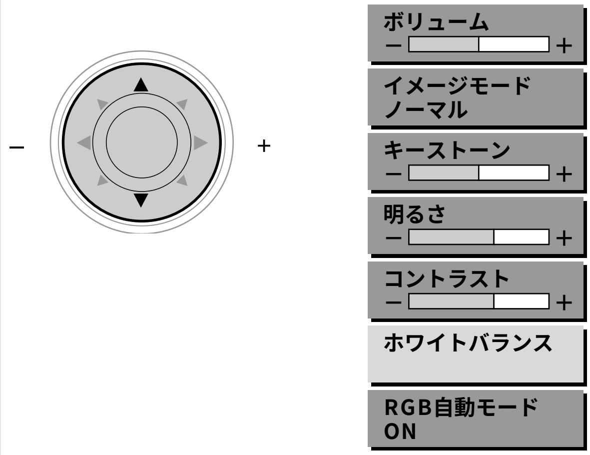


メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

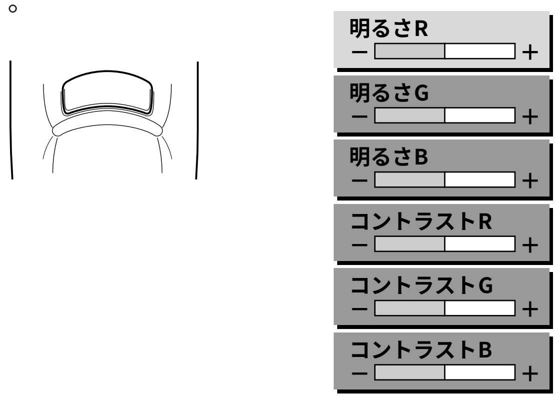
入力がRGBのとき

7 カーソルの▲／▼を押して『ホワイトバランス』を選ぶ

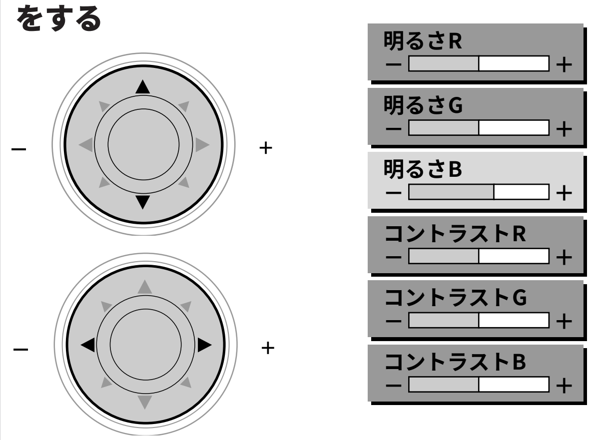


8 L-CLICKボタンを押す

ホワイトバランスメニューが表示されます。このメニューの各項目は、白色を作る構成要素です。各構成要素を調整してお好みの白色にします。



9 カーソルの▲／▼を押して各項目を選び、カーソルの+／ーを押して、選んだ項目の調整をする



メニューを消すときは

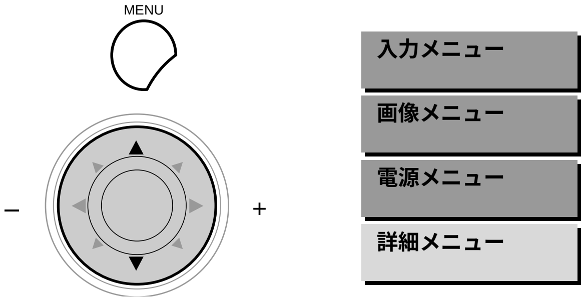
R-CLICKボタンを押します。

映像内容に合わせた設定にする

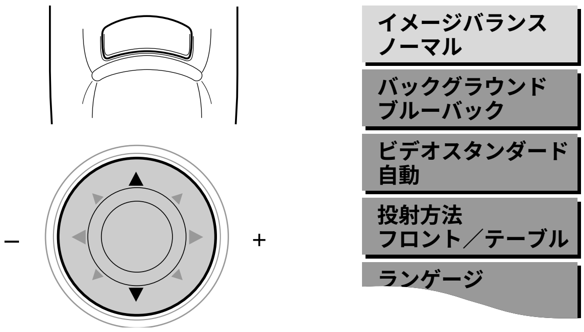
■ 明るさを重視する／色みを重視する

たとえば、パソコン画像は明るさを、映画などは色みをといったように、重視するポイントを映像内容に合わせて切り換えます。
全入力共通の設定になります。

1　MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ



2　L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『イメージバランス』を選ぶ

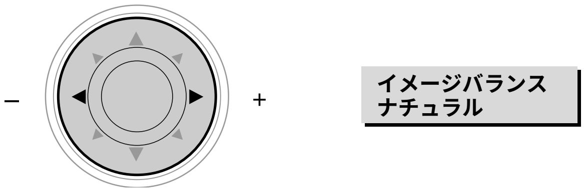


3　カーソルの＋／ーを押して、『イメージバランス』の設定をする

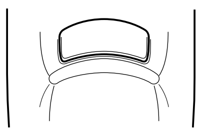
以下の選択ができます。

● **ノーマル**　　● **ナチュラル**

『ノーマル』は明るさ重視、『ナチュラル』は色み重視です。



4　L-CLICKボタンを押す



メニューを消すときは

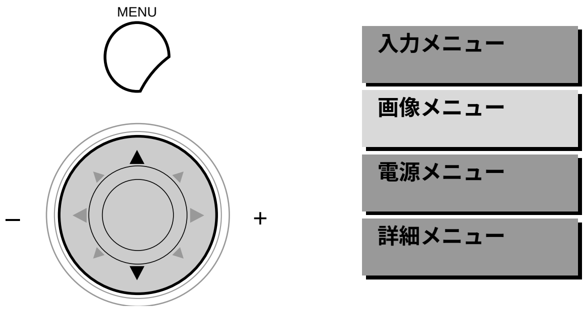
R-CLICKボタンを押します。

■ 映像内容に合わせた色みを選ぶ

左欄で、明るさ重視、色み重視を選んだあとに、さらにお好みで、微妙な色みを設定することができます。
入力ごとに設定することができます。

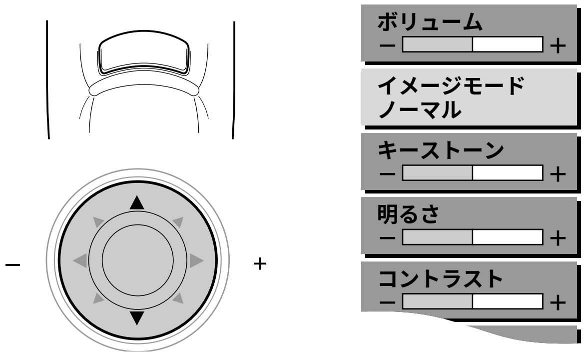
1　イメージ選択する入力を選ぶ（☞ 24, 32ページ）

2　MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『画像メニュー』を選ぶ



3　L-CLICKボタンを押して画像メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『イメージモード』を選ぶ

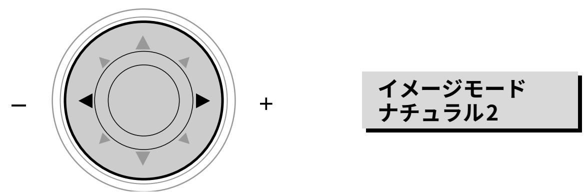
表示されるメニュー項目は、入力によって違います。



4　カーソルの＋／ーを押して、『イメージモード』の設定をする

以下の3種類のそれぞれ異なった色合いの画像が選べます。

● **ノーマル**　● **ナチュラル 1**　● **ナチュラル 2**



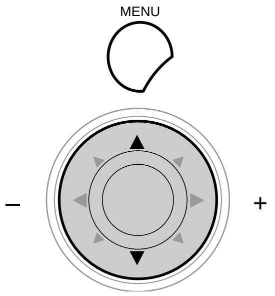
メニューを消すときは

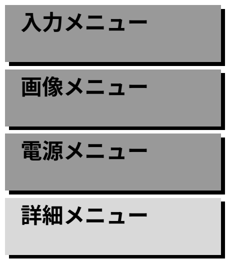
R-CLICKボタンを押します。

ボリュームを調節する

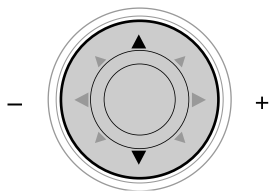
本体のVOLUME＋／－ボタンでも調節できます。（☞ 28ページ）。ボリュームはビデオ、S-ビデオ間で入力を切り換えても、最後の調節のまま変わりません。RGB入力は独立して音量が設定されます。

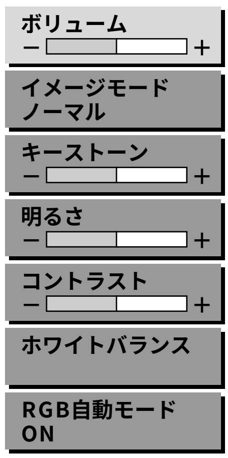
1 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ**



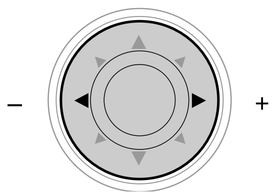


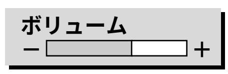
2 **L-CLICKボタンを押して画像メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『ボリューム』を選ぶ**





3 **カーソルの＋／－を押して、音量を調節する**





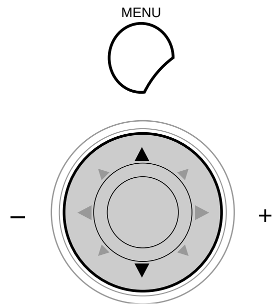
メニューを消すときは

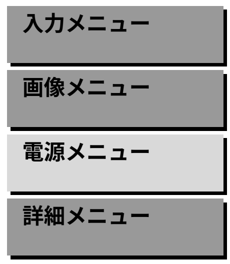
R-CLICKボタンを押します。

オンスクリーン表示をする

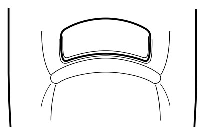
工場出荷時は、この機能は『ON』になっています。『ON』のときは、リモコンボタンで入力切り換えをしたときに、3秒間スクリーンに入力表示をします。また、電源を入れたときに、入力メニューが約1分間表示され、電源投入時に何の入力が選択されているかがわかります。

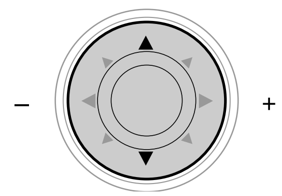
1 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『電源メニュー』を選ぶ**





2 **L-CLICKボタンを押して電源メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『オンスクリーンメニュー』を選ぶ**

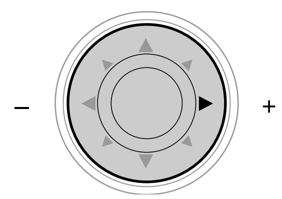


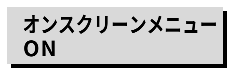




3 **カーソルの＋を押して、『ON』にする**

『OFF』にするときはカーソルの－を押します。





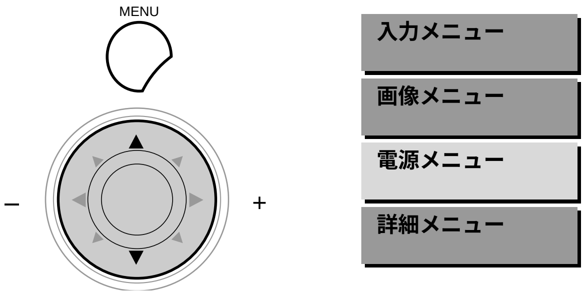
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

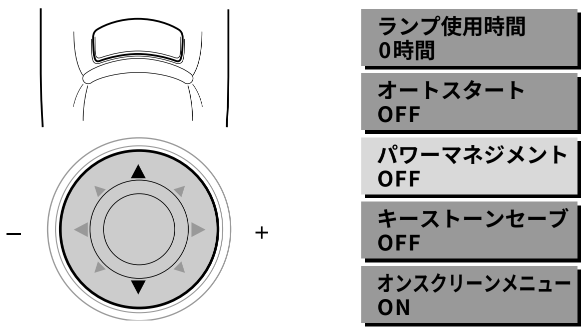
節電機能を使う

入力がRGBのときに、5分以上信号入力がないと自動的に電源を切り、スタンバイ状態にする機能です。

1 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『電源メニュー』を選ぶ**

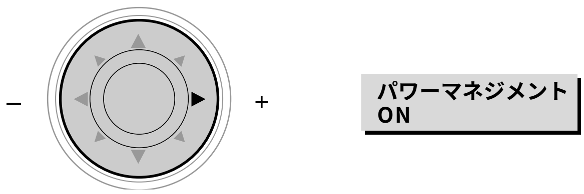


2 **L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『パワーマネジメント』を選ぶ**



3 **カーソルの＋を押して、『ON』にする**

『OFF』 にするときは、カーソルのーを押します。



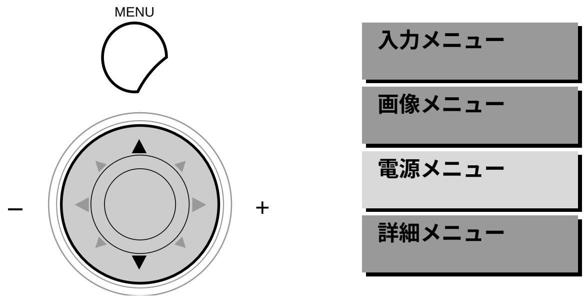
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

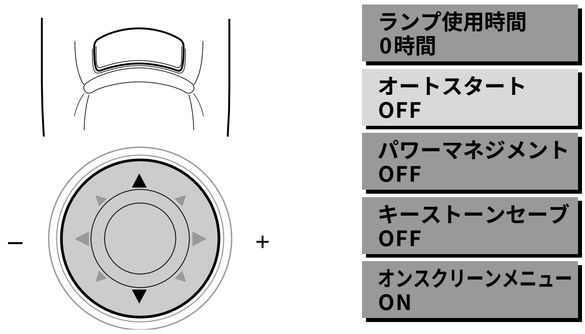
主電源だけで立ち上げる

リモコンのPOWER ONボタンや本体のPOWERボタンを押さなくても、電源コードの接続をするだけで（☞ 24ページ）、自動的に電源が入るように設定することができます。

1 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『電源メニュー』を選ぶ**

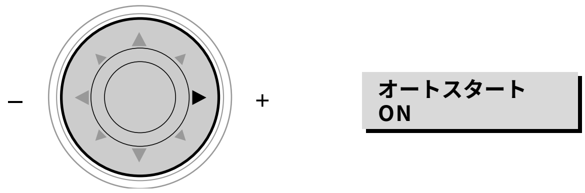


2 **L-CLICKボタンを押して電源メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『オートスタート』を選ぶ**



3 **カーソルの＋を押して、『ON』にする**

『OFF』 にするときは、カーソルのーを押します。



『ON』にしたときは、電源コードを接続するだけで自動的に以下の順序で電源が入ります。

スタンバイ状態（オレンジに点滅）→（緑に約1分間点滅→電源オン（緑に点灯）

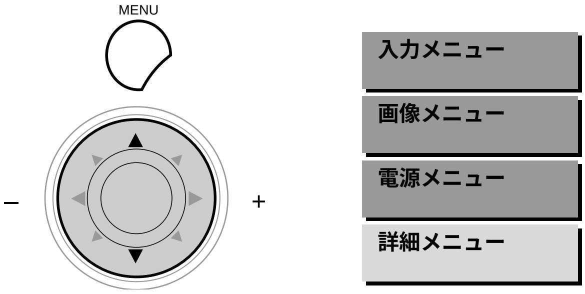
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

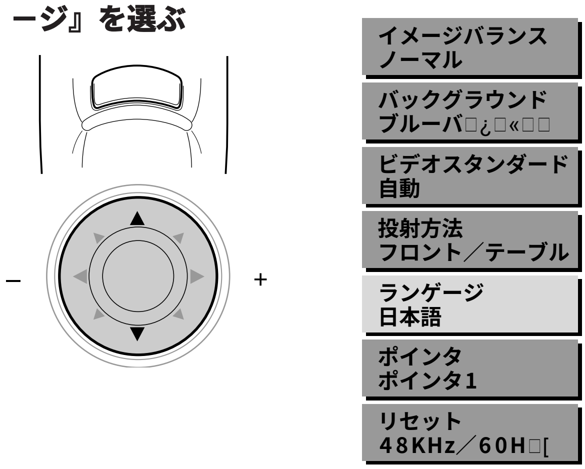
表示言語を選ぶ

メニューの表示言語を7ヵ国語の中から選びます。

1 MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ

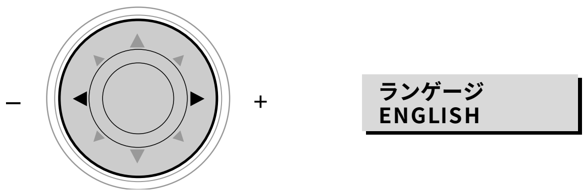


2 L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『ランゲージ』を選ぶ



3 カーソルの＋／－を押して、以下の言語を選ぶ

- 日本語
- ENGLISH（英語）
- DEUTSCH（ドイツ語）
- FRANÇAIS（フランス語）
- ITALIANO（イタリア語）
- ESPAÑOL（スペイン語）
- SVENSKA（スウェーデン語）



4 L-CLICKボタンを押す

手順**3**の設定が確定されます。次にメニュー表示すると、変更した言語で項目が表示されます。

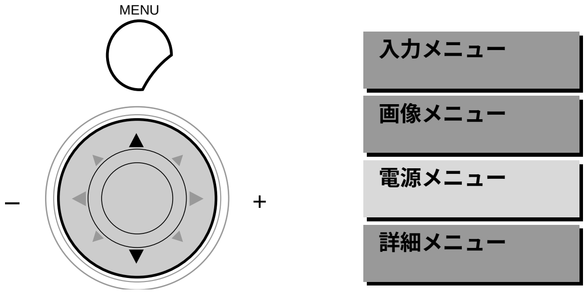
メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

ランプの使用時間を確認する

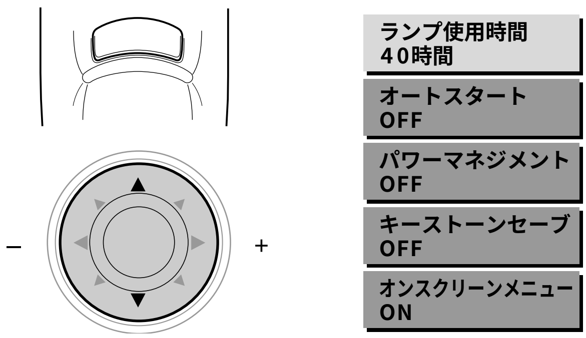
ランプは1000時間ごとに交換する必要があります（☞ ４８～５０ページ）。1000時間を超えるとSTATUSインジケータが赤く点灯しますが、メニュー画面で使用時間を確認することもできます。

1 MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『電源メニュー』を選ぶ



2 L-CLICKボタンを押して電源メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『ランプ使用時間』を選ぶ

ランプの通算使用時間が表示されます。



メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

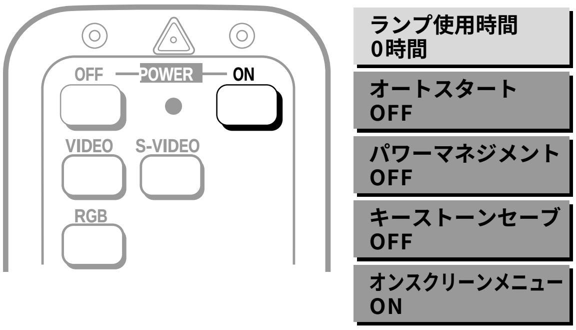
■ ランプ使用時間をリセットする

ランプを交換したら（☞ 49ページ）、メニューのランプ使用時間をリセットする必要があります。

1 **「ランプの使用時間を確認する」を行う**

2 **リモコンのPOWER ONボタンを10秒以上押す**

ランプ通算使用時間がリセットされます。



■ ランプが1100時間を超えたため、電源が入らないときは

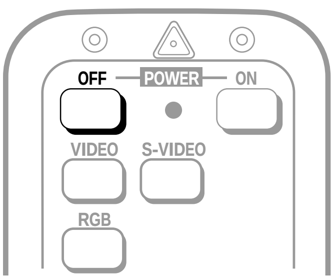
ランプ使用時間が1100時間を超えると電源が入らなくなります。このため、メニュー表示もできません。このときは、ランプハウスを交換したあとに、以下のようにリセットしてください。

1 **電源コードを接続する（☞ 24ページ）**

スタンバイ状態になります。

2 **リモコンのPOWER OFFボタンを10秒以上押す**

リセットされると、ランプ使用時間が1000時間を超えたため点灯していたSTATUSインジケータ（☞ 48ページ）が消えます。

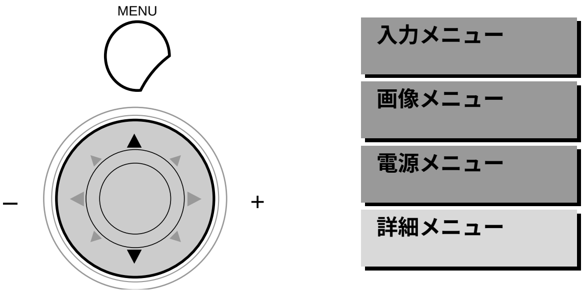


リセットする

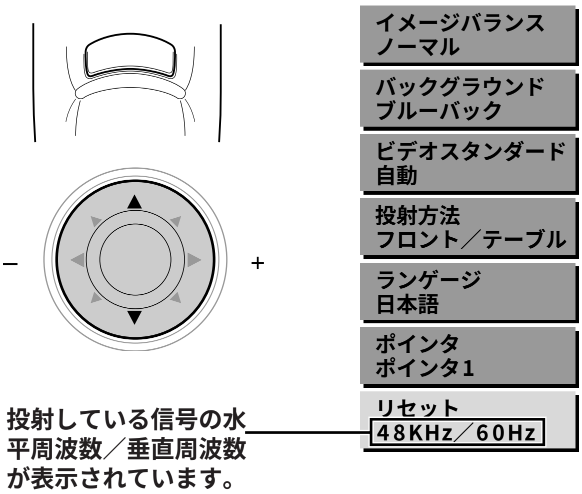
以下の変更した項目を工場出荷時の設定に戻すことができます。リセット時の入力に関わらず、ビデオ、S-ビデオ、RGBすべての項目設定が工場出荷時の値になります。

- 水平
- 垂直
- クロック周波数
- 位相
- 明るさ
- コントラスト
- カラー
- 色相
- シャープネス
- ホワイトバランス

1 **MENUボタンを押してメインメニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『詳細メニュー』を選ぶ**

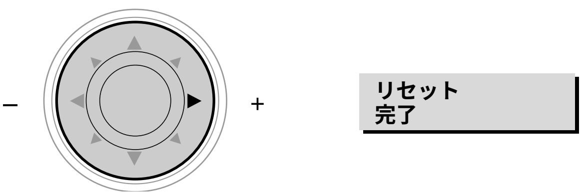


2 **L-CLICKボタンを押して詳細メニューを表示し、カーソルの▲／▼を押して『リセット』を選ぶ**



3 **カーソルの＋を3秒以上押す**

リセットされると『完了』が表示されます。



メニューを消すときは

R-CLICKボタンを押します。

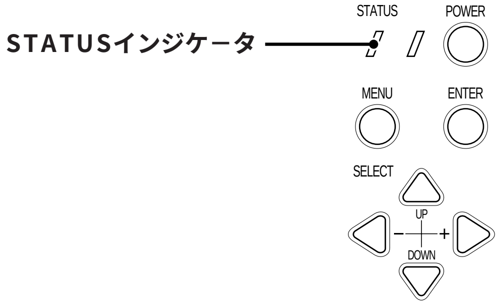
故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	24
	● ランプカートリッジが正しく取り付けられていますか。	49
	● 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。	48
	● ランプ使用時間が1100時間を超えていませんか。1100時間を超えると電源が入らなくなります。	46, 50
映像が出ない	● 接続されている入力を選んでいますか。	24, 32
	● 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	20, 21
	● 画像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	40
	● レンズキャップをつけたままではありませんか。	24
	● ランプが切れていませんか。	49, 50
	● ランプの使用時間が1100時間を超えていませんか。	46, 50
	● ノート型パソコンをご使用の場合、プロジェクタと接続してからパソコンの電源を入れましたか。また、パソコンの設定が外部RGB出力端子へ出力されない設定になっていませんか。 ノート型パソコンは、多くの場合、プロジェクタと接続した状態で電源を入れないと外部RGB出力端子に信号が出力されません。	24, 27
	● STATUSインジケータが点滅していませんか。	48
映像が歪む	● 正しく設置されていますか。	24, 25
	● KEYSTONE（キーストーン）調整を正しく合わせていますか	25
映像がぼやける	● レンズのフォーカスは合っていますか。	25
	● 投射画面とプロジェクタが正しい角度で設置されていますか。	24
	● 投射距離がフォーカスの合う範囲を超えていませんか。	18, 19
	● レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて暖かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	―
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	● 画面の水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。	38
	● クロック周波数を正しく調整しましたか。	37
	● 入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。パソコンの解像度を確認してください。	36
リモコンが働かない	● 送信インジケータ(LED)が点灯していますか。点灯しない場合は電池が消耗しています。このような場合は、新しい電池と交換してくださ□M□{	16, 17
	● リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	17
	● 有効範囲を超えていませんか。	17
	● 強い光または蛍光燈が受光部のそばにありませんか。	17
ワイヤレスマウスが働かない	● 本体のMOUSE端子とパソコンを正しく接続していますか。	23
	● 本体のMOUSE端子に接続してからパソコンを起動しましたか。	23
STATUSインジケータが点滅する	● STATUSインジケータ一覧をご覧ください。	48
RGB入力で文字がチラついたり色がずれている場合	● RGB自動モードがONの場合は、 OFFにしてマニュアルでクロック周波数および位相を調整してください。 RGB自動モードがOFFの場合は、ONにしてみてください。	37

STATUS インジケータが点灯／点滅しているときは

ステータス



OFF	● 通常
ON（点灯）	● ランプ使用時間が1000時間を超えました。新しいランプに交換してください。
1秒間隔で点滅 (0.5秒点灯／0.5秒消灯)	● ランプカートリッジが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。
4秒間に1回の間隔で点滅 (2秒点灯／2秒消灯)	● 温度プロテクタが作動しています。室温が高い場合は、プロジェクタを涼しい場所へ移動してください。プロジェクタ内部の温度が高い場合は、冷却ファン通風孔や底面の通気孔を調べて、目詰まりしている時は掃除をしてください。 ● 温度プロテクタが作動し、電源を切ったあとにすぐONすると、電源が入らないことがあります。その場合は1分間待ってからもう一度ONしてください。 ● ランプ点灯電圧異常検出プロテクタが作動しています。そのまま1分間以上待って再度電源をONしてもなおらない場合は販売店にご相談ください。
8秒間に1回の間隔で点滅 (4秒点灯／4秒消灯)	● ファンが停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
12秒間に1回の間隔で点滅 (6秒点灯／6秒消灯)	● ランプが点灯しません。1分間以上待って再度電源をONしてください。 それでもなおらない場合は販売店にご相談ください。

温度プロテクタについて

プロジェクタ内部の温度が異常に高くなるとSTATUSインジケータが（4秒間に1回の間隔で）点滅します。
同時に温度プロテクタが働いてプロジェクタの電源が切れます。
このときは、以下のことを行ってください。

1. 電源コードをコンセントから抜きます。

2. 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。

周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、適切な場所に設置しなおしてください。

3. プロジェクタの温度が下がるまで、約60分待ってください。

以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

ランプカートリッジを交換する

光源につかわれているランプの使用時間が1000時間を超えるとSTATUSインジケータが点灯し、使用時間アイコンが画面上に表示されます。また、1100時間を超えるとランプがつかなくなります。
この場合はランプカートリッジの交換時期です。以下の手順にしたがって交換してください。

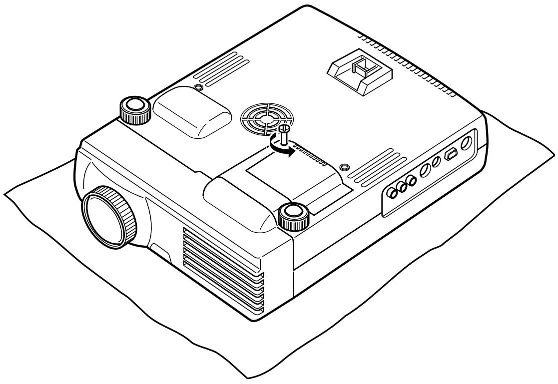
⚠注意	● ランプカートリッジの交換は、電源を切り、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプカートリッジを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。 ● 指定のネジ以外は外さないでください。 ● ランプのバルブ本体および反射板に触れると輝度が落ちるなどランプの寿命が短くなる恐れがあります。 ● 1000時間を超えて、使用されるとランプが切れることがあります。 ランプが切れる時には、小さな破裂音が発生し、ランプの破片がランプカートリッジ内に散らばります。この場合は、販売店に交換を依頼してください。

準備　プロジェクタ本体を裏がえしにして傷がつかないように置くと、交換しやすくなります。交換後はもとに戻してください。

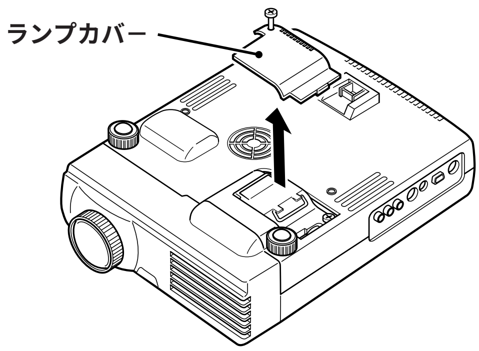
1. 電源コードを外す。

2. 本体の底面を上にする。

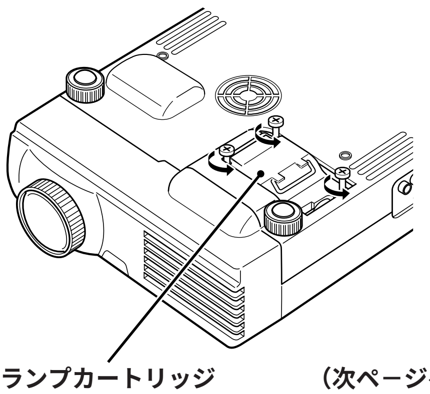
3. ランプカバーの止めネジをゆるめる。



4. ランプカバーを外す。



5. ランプカートリッジのネジ3本をゆるめる。

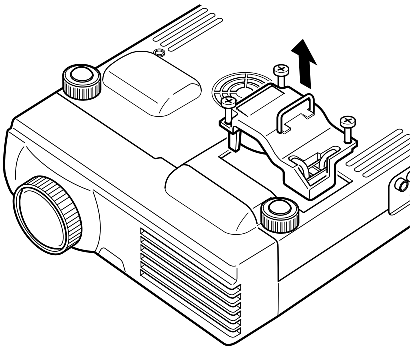


（次ページへ続く）

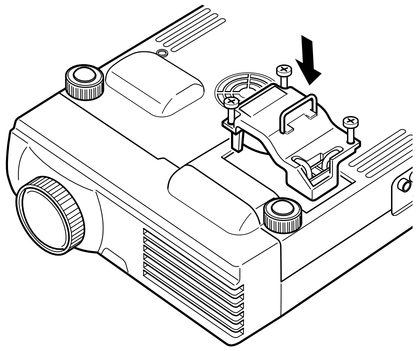
その他

ランプカートリッジを交換する（つづき）

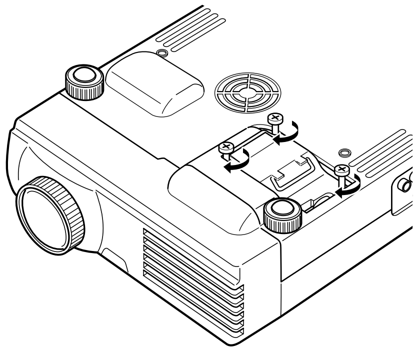
6. 取手をつかんでランプカートリッジを手前に引き、取り出す。



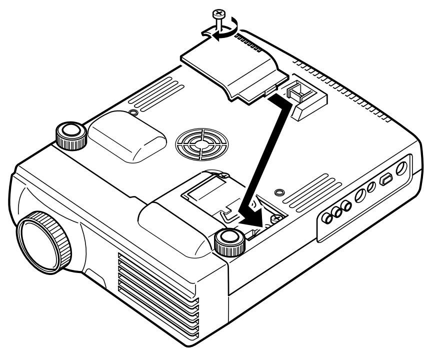
7. 新しいランプカートリッジを取り付ける。



8. ランプカートリッジのネジ3本を締める。



9. ランプカバーを元のように取り付け、止めネジで固定する。



10.ランプ時間をリセットする。

「ランプ使用時間をリセットする」（☞ 46ページ）

お知らせ

ランプ使用時間が1100時間を超えると、電源をオンにすることができなくなります。したがってメニューによるランプ使用時間のリセットができません。この場合は、スタンバイ状態でリモコンのPOWER OFFボタンを10秒以上押してください（☞ 46ページ）。リセットされるとSTATUSインジケータが消灯します。
交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際はU2-1080／U2-870専用交換用ランプ型名U2-120(注文コード28-650)とご指定ください。

お手入れについて

● お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
● プロジェクタ本体やレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ プロジェクタ本体の汚れは・・・・・・

● 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
● シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
● スピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
● プロジェクタ本体やスピーカー部を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。また、スピーカー部を鋭利なもので突き刺すと穴があく恐れがあります。

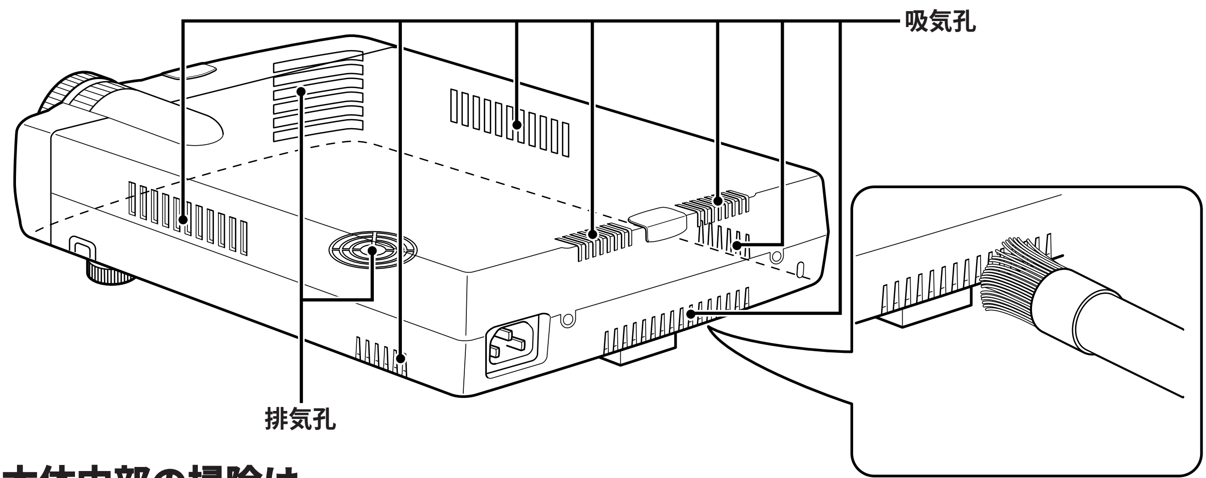
■ レンズの汚れは・・・・・・

● レンズ表面は特殊コーティングされています。お手入れは販売店にご相談ください。

■ 吸気孔、排気孔のほこりは・・・・・・

吸気孔、排気孔にほこりがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。最低でも100時間を目安に掃除をしてください。

● 電源を切り、電源コードを抜いてください。
● 外側から電気掃除機で吸い取ってください。掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



■ 本体内部の掃除は・・・・・・

年に1度くらいは本体内部の掃除が必要です。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除は絶対にご自分でせず、必ずお買いあげの販売店または弊社サービス・お客さま相談窓口にご相談ください。

仕　様

項目			U2-1080	U2-870
製品型式名			U2-1080	U2-870
投射方式			DLP（単板DMD™）方式	
主要部品仕様	DMD	サイズ	0.86インチ	0.67インチ
		画素数	786,432画素(1024×768)	480,000画素(800×600)
	投影レンズ		マニュアルズーム（×1.2)、マニュアルフォーカス	
			F=3.0～3.3　f=35～42mm	F=3.0～3.3　f=27.5～33mm
	光源		120W P-VIPランプ	
	光学装置		ダイクロイックフィルターによる光時分割合成方式	
画面サイズ			最小25インチ(投影距離1.2mテレ時) 最大300インチ(投影距離12.3mワイド時)	
色再現性			フルカラー（1,677万色）	
明るさ（ノーマリーホワイト）			800ANSIルーメン(ノーマリーホワイト)	700ANSIルーメン
コントラスト比			500：1typ	
音声出力			1Wモノラルスピーカー内蔵	
走査周波数		水平	15～85kHz	
		垂直	50～85Hz	
調整機能			ズーム、フォーカス(ともにマニュアル)、投影角度、入力信号切替え(RGB/S-ビデオ/ビデオ) 画面上下、左右反転、画面拡大、静止画、ミュート、(映像／音声とも)、電源オン／オフ RGB信号自動位置＆位相調整、デジタルキーストーン補正、ポインタ表示、明るさ コントラスト、色の濃さ※1、色合い※2、ホワイトバランス※3、画質、音量	
アナログRGB入出力	RGB入力信号	信号方式	セパレート信号方式	
		映像信号	アナログ：0.7Vp-p／75Ω	
		同期信号	セパレート／コンポジット：TTLレベル(正／負) シンクオングリーン：0.3Vp-p負 (映像：0.7Vp-p正)	
		音声信号	0.4Vrms／47kΩ	
	RGB入力端子	映像	RGBミニD-SUB（15ピン）	
		音声	ステレオミニジャック	
	RGB信号		VGA(640×480)、 S-VGA(800×600)拡大表示、 XGA(1024×768)フル表示、 SXGA(1280×1024)圧縮表示 （アキュブレンド方式）	VGA(640×480)拡大表示、 S-VGA(800×600)フル表示、 XGA(1024×768)圧縮表示 （アキュブレンド方式）
ビデオ入出力	入力信号	信号方式	NTSC／PAL、SECAM／NTSC4.43（マニュアル切換、PAL_N、PAL_Mは非対応）	
		映像信号	コンポジット：1.0Vp-p／75Ω S映像端子：Y信号(1.0Vp-p／75Ω)、C信号(0.286Vp-p／75Ω)	
		音声信号	0.4Vrms／47kΩ	
	入力端子	映像	RCA×1、S映像端子×1	
		音声	RCA×2 (L/MONO, R)	
マウス出力端子			ミニDIN9P×1	
水平解像度			NTSC:550本以上	
温湿度条件			5℃～35℃、30～85%(ただし結露しないこと)	
電源			AC100V、50/60Hz	
消費電力			180W	
外形寸法（突起部含まず）			235(幅)×58(高)×297(奥行)mm	
質量			2.6kg	2.5kg
付属品			レンズキャップ(本体に装着)、ワイヤレスレーザーポインタ付きリモコン、RGB信号ケーブル(IBM/98ミニD-SUB15ピン：1m)、電源コード(1.8m)、乾電池(単3×2本)、シリアルマウスケーブル(1m)、マウスアダプタ(PS/2用)、マウスアダプタ(Mac用)、信号アダプタ(Mac用)、オーディオビデオケーブル（1m)、S-ビデオケーブル（1m)、PCオーディオケーブル（1m)、キャリングケース、取扱説明書、クイックスタートガイド、保証書、ユーザー登録カード、FAX発信用ユーザー登録用紙	

※1：NTSC/PAL/SECAMビデオ入力時のみ調整可能です。

※2：NTSCビデオ入力時のみ調整可能です。

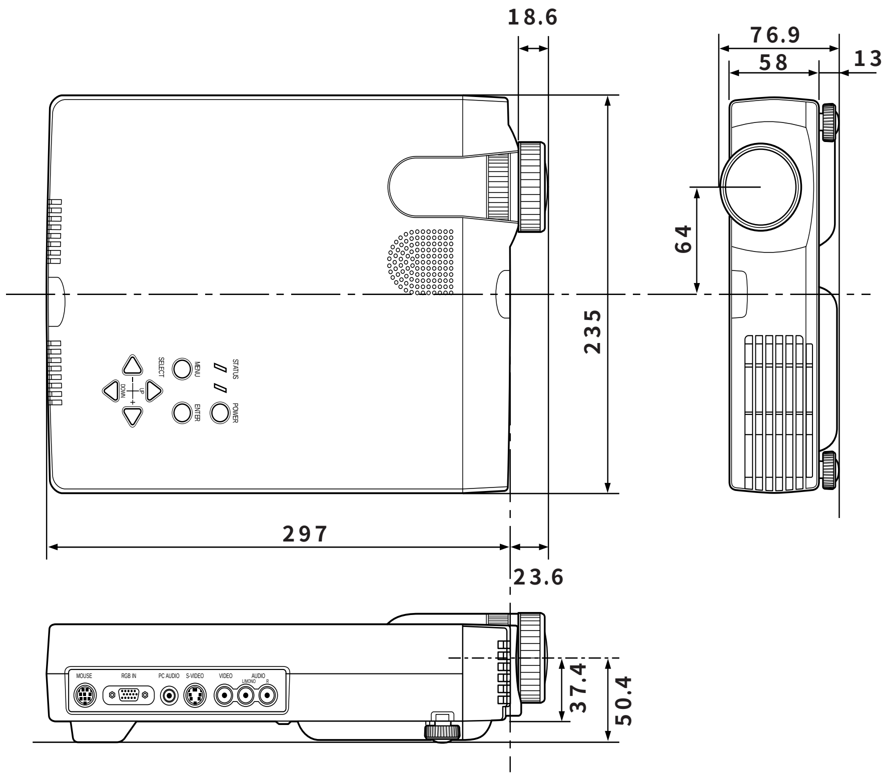
※3：RGB信号入力時のみ調整可能です。

●この仕様･意匠はお断りなく変更することがあります。

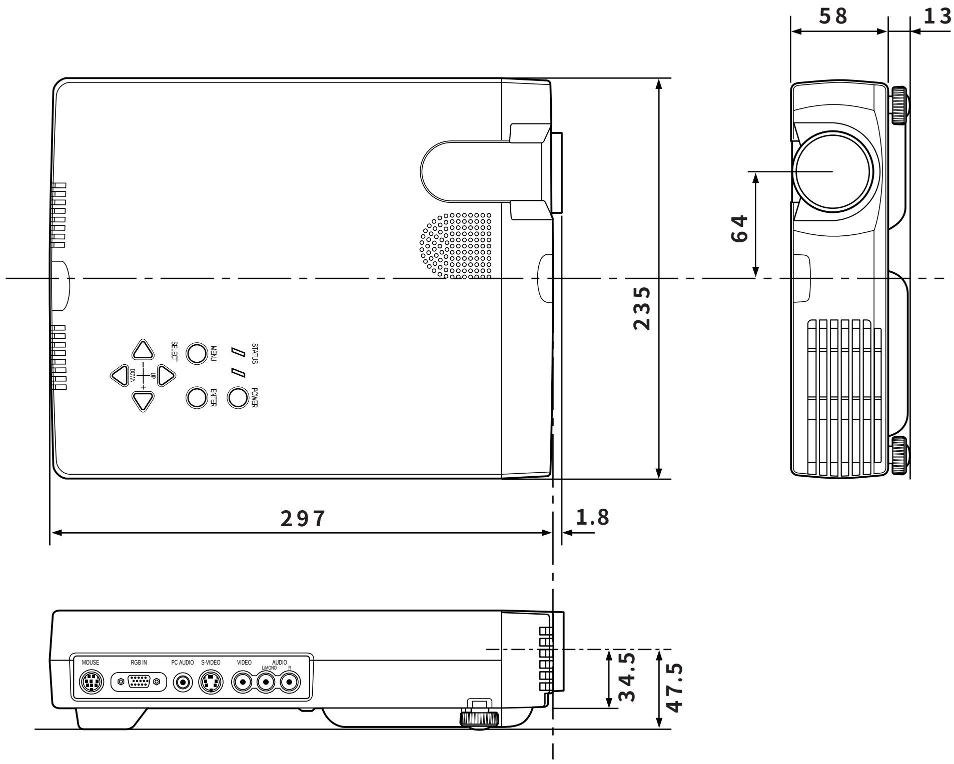
●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので、使用できません。
<This projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.>

外観図

■ U2-1080

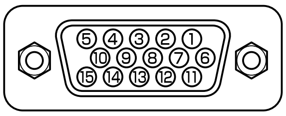


■ U2-870



RGB 入力端子と信号の関係

RGB入力端子は、ミニD-Sub 15ピン（アナログ）入力端子です。
各ピンの接続と信号レベルは以下の通りです。



信号レベル
ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
／同期信号：TTLレベル

ピンNo.	信号（アナログ）
1	赤
2	緑またはシンクオングリーン
3	青
4	接　地
5	接　地
6	赤　　接　地
7	緑　　接　地
8	青　　接　地
9	非接続
10	同期信号　　接　地
11	接　地
12	NC
13	水平またはコンポジット同期
14	垂直同期
15	NC

アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お近くの弊社また販売店にお申し出ください。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、巻末に記載のお近くの弊社または販売店をご利用ください。

●無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書(ご購入日より 1 年以内のもの)が添付されている場合には、無料修理させていただきます。その際修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料になります。保証期間内であっても、下記の様な場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または販売店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、手掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの弊社または販売店にお問い合わせください。

●修理部品の保証期間

プラスデジタルプロジェクタ U2-1080/U2-870 の補修用部品は、5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはお近くの弊社または販売店にお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理お申し出になる場合は、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属物類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
5. 弊社指定工場修理の場合、ご購入時の外箱に入れて包装してください。

プラス株式会社

〒261-8501 千葉市美浜区中瀬1-3-B22　P&C事業本部

札　幌	011(731)1221	釧　路	0154(37)5771	仙　台	022(214)6611	盛　岡	019(638)8011	青　森	0177(29)3111
秋　田	0188(64)8311	山　形	023(633)5511	福　島	024(545)7676	前　橋	027(252)3411	水　戸	029(248)7433
宇都宮	028(663)2331	新　潟	025(285)7911	長　野	026(285)5111	千　葉	043(231)3321	甲　府	055(232)4882
八王子	0426(48)1800	大　宮	048(686)3311	横　浜	045(201)2121	厚　木	0462(24)1511	静　岡	054(237)1155
沼　津	0559(76)2611	浜　松	053(442)6366	名古屋	052(262)1271	金　沢	076(291)4511	四日市	0593(54)5550
富　山	0764(36)2550	岐　阜	058(248)1133	安　城	0566(72)6101	大　阪	06(6532)1142	京　都	075(371)2061
神　戸	078(577)6950	加古川	0794(20)1678	広　島	082(256)5001	岡　山	086(276)7811	高　松	087(823)1191
山　口	0839(32)2411	福　岡	092(712)2101	熊　本	096(385)5361	鹿児島	099(285)7280	沖　縄	098(861)5523

◆商品の仕様に関するご質問は…　お問い合わせセンター　0120-331-059

●表示価格に消費税は含まれておりません。●品質改善のために、予告なく仕様等の変更を行なう場合がございます。予めご了承ください。

■ホームページアドレス http://www.plus.co.jp/

ISO 9001認証取得
プラス工業・入間工場Q1971219118009